

いる職種への参加を女性にお奨励する政策が必要である。」と述べている。

(2) フィリピン農村女性の現状

フィリピンでは地域ごとに貧困ラインを設定しているが、それでもなお、首都圏と比較して首都圏外の地域では貧困ラインを下回っている世帯の比率が非常に高くなっている(表 2.11)。また、農村部における貧困世帯の割合は 47.2%で、都市部における貧困世帯の割合 31.0%と比都市部と農村部の収入格差が挙げられる。農村部の女性の平均収入は都市部の女性の平均収入の半分以下、都市部の男性のその 3分の1以下にすぎない(表 2.12)。また、女性が農業、漁業、林業等の家業に貢献しているにもかかわらず、無給の家内労働者として扱われ、収入が統計に現れない。また、雇用の機会も少ないため、現金収入を求めて農村から都市へ移住する人口も増え続けている。その上、フィリピンでは都市部から海外へ移住する人口に加え、農村部から直接海外に移住する人口も増えつつある。海外出稼ぎ労働者の適当な収入や労働環境の確保は大きな社会問題となっている。さらに、農村部では女性が教育や訓練を受ける機会が都市部に比べて制限されており、これも農村部の女性が正規分野で働く可能性をせばめていると言える。

表 2.13 に見るように、都市部の就労人口における女性の比率は 1980 年と 1990 年では余り変化していない。しかし、就労人口自体は増加しており、都市部の女性の就労人口は 1991 年には約 438 万人で 1980 年の 2 倍以上となっている。農村部から都市部に移住する女性が増えた結果、都市部における失業率は上昇し農村部のそれを上回っているが、それでもなお、雇用を求めて農村部から都市部へ移住する者は減っていない。

表 2.11 地域別貧困ラインと貧困ライン以下の世帯比率 (1991年)

地域	貧困ライン (ペソ)	貧困ライン以下の世帯 (%)
全国	3,675	40.7
NCR* (首都圏)	4,735	14.9
I	4,062	49.4
II	3,536	43.1
III	4,146	33.0
IV	4,041	38.0
V	3,238	56.1
VI	3,273	46.7
VII	2,825	42.4
VIII	2,620	40.7
IX	3,479	54.5

X	3,282	55.2
XI	3,264	47.5
XII	3,457	51.0
CAR**	3,287	37.6
NCR以外	3,502	44.9

出典："1994 Manpower Factbook," TESDA

* NCR : National Capital Region

** CAR : Cordillera Administrative Region

表2.12 都市・農村別平均収入（4半期分）1990年（単位：ペソ）

	都市	農村	全体
女性	2,028	926	1,384
男性	3,826	2,549	3,049

出典："Philippine Country Report on Women," NCRFW, 1995

表2.13 都市部の就労人口と女性の比率 1980・85・90年

年	就労人口（人）	就労人口における女性の比率（%）
1980	4,820,000	40.2
1985	6,960,000	41.2
1990	11,025,000	39.7

出典："Philippine Country Report on Women," NCRFW, 1995

(3) プロジェクト内容の検討

1) 訓練生の募集と訓練分野

社会福祉事業省婦人職業訓練所において職業訓練を受けるための現在の資格は次の通りである。

- a) 18歳から59歳の女性
- b) 心身ともに健康であること（政府の医師による健康診断書要）
- c) 6カ月以上その地域に住民であることがバラングアイキャプテンによって証明され、訓練終了後2年間は他の地域に移住する予定のない者（バラングアイ証明書要）。
- d) 一家6人として、世帯の総収入が毎年社会福祉事業省が定める所得ライン（政府の定める

貧困ラインに準じて設定) 以下の生活レベルに属すること。

- e) 規定された時間と期間の訓練に意欲をもって参加し、そのコースを全うすること。
- f) 妊産婦でないこと、または授乳中の子供がいないこと。
- g) 可能な限り配偶者の文章での同意書を提出すること。
- h) 小学校卒業以上の学歴を持ち、読み書きが出来ること。
- i) 仕事に対して前向きであること。
- j) 雇用、自立起業、保護作業場で働ける可能性のあること。
- k) 習得した技術を他の女性に移転する意欲のあること。
- l) 選択した分野に対し、関心を表明出来ること。
- m) 訓練終了後生計(収入創出)活動に従事すること。

訓練生はラジオや新聞等のマスコミによる募集もあるが、各地の社会福祉事務所がバランガイでの日常活動の中からバランガイキャプテンとの連携により募集する場合が多い。また、一部の地域や分野によってはそのほとんどが直接応募してくる訓練所もみられる。

ホームエイドサービス分野の資格は18歳から45歳までの女性で、少なくとも6級(小学校6年)を修了しており、地元で就業することを望んでおり、18歳以下の子供がいないことが訓練を受ける資格となっている。

夫の同意書を求めているのは、訓練生が家庭の問題により訓練を中断することを避ける意味があり、夫の了解を言葉だけでなく文章化することにより、訓練生が訓練を受けやすい環境を確保することにある。また、家事や子供の世話を夫、家族、親戚等に頼む必要のある訓練生も多い。幼い子供を持つ訓練生は年長の子供の夏休みに訓練を受ける傾向がある。

社会福祉事業省では機器を使う訓練所での安全を考慮して訓練生が子供を訓練所に連れてくるのを禁じており、また妊産婦ばかりでなく授乳中の子供を持つ女性を対象からはずしている。

第一次計画では陶芸、縫製、玩具製作、食品加工、藤加工の5分野であったが、最終的に本計画で選ばれた分野にはこれまで女性から訓練の要望が多く、就業の機会が高かった縫製、玩具製作、食品加工の3つの既存分野とホームエイドサービス、機織りの2つの新規分野が含まれている。新規分野である機織りでは訓練所開設計画段階ですでに数万人に上る訓練の希望が社会福祉事業省に寄せられている。ホームエイドサービスでは、都市部の中高所得者層だけでなく、特に主婦が働いている家庭による質の高いホームヘルパーへの要求が高く、それ以外にも、ボランティアや社会福祉に携わる民間グループの養成も検討されている。

社会福祉事業省委託調査によると、訓練生が訓練を受ける目的としては、「収入を創出するための技術を身につけていること」、「個人的に、または家業のため技術を得ること」と答えている訓練生が9割以上を占めている。

2) 訓練生の状況

主に各市町の福祉事務所を通じて募集される訓練生はその募集資格で述べた通り、18歳から59歳までの女性で、ほぼフィリピン政府が定める貧困ライン以下の世帯に属しており、訓練生の8割は雇用機会の少ない農村部に居住している。また、訓練所開設当初は職を持たない女性を優先していた。

1991年から1992年の修了生30%を網羅する社会福祉事業省の民間委託調査("Extent of Implementation and Impact of the Project" conducted by the Center for Research and Communication)によれば、修了生の70%が既婚であり、修了生の1世帯当り人数は国内平均を上回っており、修了生の40%は中等学校を修了しておらず、修了生のほとんどが訓練に参加する前にいかなる収入の手段も持っていなかったという結果がでている。

対象となる女性の数は毎年、貧困ラインの上昇とともに拡大している。

3) 訓練の状況

1バッチ当りの訓練生数は20名から25名で訓練の日数は分野別に異なっている。

	訓練時間	全日コース	標準訓練生数
縫製	120時間	30日間 (半日コース)	25名
食品加工	57時間	7日間	20名
玩具製作	64時間	8日間	20名
ホームエイドサービス(計画)	150時間	20日間	20名
機織り(計画)	80時間	10日間	20名

訓練コースは分野の状況と地域の特殊性に応じて半日コースと全日コースが設定されている。

訓練期間中、交通費の負担が困難な訓練生には各市町の社会福祉事務所の持つ生計創出予算から1日20ペソ前後の交通費が支給され、また、通うことが不可能な訓練生のために各訓練所には宿泊所が付設してある。また、各バラングイにはデイケアセンターがあり、訓練生は幼児を預けることが可能である。

訓練費は無料で、訓練に使用する原材料も社会福祉事業省が負担しているが、完成品の販売益は社会福祉事業省に納入される。訓練所によっては民間から原材料の寄付を受けている所もある。

訓練修了にあたっては修了試験あるいは修了評価が実施される。縫製はTESDA(III NMYC)が認可する担当官が実施する試験により工場その他での雇用に値する技術訓練を修了しているかが試される。合格するとTESDAの検定合格証が与えられる。

他の分野では TESDA の試験ではなく、社会福祉事業省独自の基準が用いられている。

食品加工ではトレーナーの実地を見て訓練生が繰り返す作業状態を習得技術の評価基準としている。玩具製作等の他分野では、完成品の評価基準として製品の品質管理についてのチェックリストと指針がトレーナーによって設定されている。修了試験に落ちたあるいは修了評価に満たない者は追加の訓練が施され、再度修了試験あるいは評価に合格しなければならない。

4) 訓練修了後の動向

1991 年から 1994 年までの訓練修了生のおよそ 80% 余りは就業の機会を得ているが、農村部では雇用が限られており、一般企業に職を得る修了生は全体の約 15% 程度にすぎず、食品加工、玩具製作、縫製のいずれの分野でも 60% 前後の訓練修了生は自立企業を営んでいる。自立のための初期資本は地方政府が融資する制度があり、社会福祉事業省では集団事業に対して融資している。また、NGO による個人融資制度もある。何らかの融資を受けて自立起業に入る訓練生は全体の 30% 弱、自己資金によるものが全体の 30% 強となっている。

訓練後、就業しない者あるいは確認出来ない者は 20% 弱となっているが、社会福祉事業省及び各地方政府の社会福祉事務所が修了後最低 2 年間はカウンセリングとモニタリングを実施している。

訓練修了生の数パーセントが委託トレーナー (Multiplier) となり、訓練所内ではなく各コミュニティでの訓練を実施する。社会福祉事業省はこれらのトレーナーに 1 バッチ単位の人件費を支給する他、訓練用原材料費を負担している。

一般企業に就職した訓練生の中でも契約社員として働く者も多く、この場合、給与は出来高で支払われる。給与の額は完成品の内容、質、量によって異なっており、技術、スピード、労働時間に大きく左右されるため、経験の浅い婦人労働者が熟練者と同じ収入を得るためには長時間労働が強いられることになる。

自立企業では品質と生産量が所得に大きな影響をもつが、この他営業力も大きな要素となっており、社会福祉事業省の保護作業場やコミュニティ生産センターの幾つかでは製品の販売ルート開拓が所得向上の大きな課題となっている。

就業後の月収は計画第 1 期の訓練所でのアンケート調査によると 1,000 ペソ前後というものが多く、一般的には決して高額とは言えないが、訓練生の大半が家事労働をもつ家庭の主婦であり、訓練前は多くが無収入であり、訓練を通して収入を得ることが可能となった女性の数が計画第 1 次全分野において 1991 年から 1995 年までで約 75,000 人に上っている。このことは本計画が社会に与える影響が無視できないものであり、計画の概念を通じて述べられたように政府の諸目的に合致していることを示している。

5) 訓練及び収入創出活動の成果

農村部では産業が限られており就職先自体が少ないため、訓練修了後、企業に就職する訓練修了生は全体の15%程度である。企業に就職した修了生のうち半数以上が契約社員として働いているといわれ、その賃金支払形態で最も多いのが出来高払いである。賃金も安く出来高払いであるため1日12時間も働いている修了生もいる。その一方、企業に就職した修了生の約7割は、現在の給料が自分の持っている技術レベルに見合うものであるとし、一応の満足感を得ている。

雇用の機会が限られている農村部において、特定の技術を身につけるための職業訓練は女性が経済的、社会的に自立してゆく過程で大きな役割を担っている。また、女性の収入創出活動は家族の生活を経済的にも精神的にも豊かにすることに大きく貢献している。家族の生活を支えるための収入創出活動を必要としている女性の大半は20~40代の出産可能年齢に属しており、妊娠していたり、乳幼児を抱えていたりすることも多い。このため、家事や育児と両立しやすい自立起業を望む女性も多く、女性が収入を創出する方法としては自立起業は大きな可能性を秘めている。

訓練前はそのほとんどが無収入であった女性達が、訓練修了後商売を始めたことにより収入を得られるようになっただけでなく、自信を持つようになったことが訓練とその後の収入創出運動の大きな成果である。自立起業を他のメンバーと経営することにより、他人のことも考えるようになったという修了生もみられた。

女性達の収入創出活動が結果的に家族全体に裨益しており、夫の態度にまで影響を及ぼしたり、子供の健康状態が向上したという報告もある。社会福祉事業省では職業訓練の他に事業の運営管理技術、衛生環境、保健、地域参加、リーダーシップトレーニング、自己開発、ジェンダーなどのセミナーを開催しており、単に女性の所得向上を目指すのではなく、女性の自立・自覚が家族、コミュニティーに与える波及効果を含めて統合的な活動を行っている。これは女性の社会的地位の向上にとっても非常に重要なポイントである。また、訓練生の家族(具体的には夫など)にもジェンダーについてのセミナーに参加する機会を与えることは、訓練生が安心して訓練に参加するため、あるいは訓練修了後、女性が収入創出活動を継続していく際には家族の理解を得るためにも有効である。

表2.14 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1991~94年

地域	訓練分野	目標訓練生数		訓練生		卒業後の進路																
		人数	%	人数	%	DSWDから資金を借りた卒業生		DSWDから資金を借りた卒業生		DSWDから資金を借りた卒業生		DSWDから資金を借りた卒業生		DSWDから資金を借りた卒業生		DSWDから資金を借りた卒業生						
						人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
I	陶芸	644	97.8	151	24.0	61	9.7	120	19.0	332	52.7	113	17.9	10	1.6	43	6.8	498	79.0	132	21.0	
	玩具	2,219	96.3	402	18.2	135	6.3	1,136	53.1	1,673	78.3	31	1.4	45	2.1	4	0.2	1,753	82.0	385	18.0	
	小計	2,863	96.7	553	20.0	196	7.1	1,256	45.4	2,005	72.4	144	5.2	55	2.0	47	1.7	2,251	81.3	517	18.7	
	小計	1,275	79.1	125	15.5	121	15.3	329	41.6	573	72.4	20	2.5	7	0.9	16	2.0	616	77.9	175	22.1	
II	陶芸	1,220	84.3	141	13.7	134	13.0	465	45.2	740	71.9	70	6.8	6	0.6	17	1.7	833	81.0	196	19.0	
	玩具	2,495	72.9	264	14.5	255	14.0	794	43.6	1,313	72.1	90	4.9	13	0.7	33	1.8	1,449	79.6	371	20.4	
	小計	460	62.6	65	22.6	17	5.9	24	8.3	106	36.8	26	9.0	5	1.7	90	31.3	227	78.8	61	21.2	
	小計	1,565	82.3	137	10.6	146	11.3	244	18.9	527	40.9	542	42.1	8	0.6	17	1.3	1,094	84.9	194	15.1	
III	陶芸	225	51.1	0	0.0	0	0.0	100	87	87.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100	87.0	15	13.0
	玩具	270	8.5	0	0.0	0	0.0	23	100	23	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	23	100.0	0	0	
	小計	2,520	68.0	202	11.8	163	9.5	391	22.8	756	44.1	568	33.1	13	0.8	107	6.2	1,444	84.2	270	15.8	
	小計	1,348	91.6	110	8.9	91	7.4	346	28	547	44.3	458	37.1	4	0.3	7	0.6	1,016	82.3	219	17.7	
IV	陶芸 (Banu)	1,515	96.0	242	16.6	59	4.1	417	28.7	718	49.4	448	30.8	8	0.6	33	2.3	1,207	83.0	247	17.0	
	玩具 (GMA)	400	72.8	56	19.2	76	26.1	75	25.8	207	71.1	24	8.2	2	0.7	0	0.0	233	80.1	58	19.9	
	小計	2,314	90.3	611	29.2	299	14.3	766	36.7	1,676	80.2	130	6.2	17	0.8	15	0.7	1,838	88.0	251	12.0	
	小計	5,577	90.9	1,019	20.1	525	10.4	1,604	31.6	3,148	62.1	1,060	20.9	31	0.6	55	1.1	4,294	84.7	775	15.3	
V	陶芸	1,547	146.2	512	22.6	310	13.7	542	24	1,364	60.3	417	18.4	14	0.6	14	0.6	1,809	80.0	453	20.0	
	玩具	2,259	137.2	621	20.0	366	11.8	1,272	41	2,259	72.9	166	5.4	33	1.1	22	0.7	2,480	80.0	620	20.0	
	小計	3,806	140.9	1,133	21.1	676	12.6	1,814	33.8	3,623	67.6	583	10.9	47	0.9	36	0.7	4,289	80.0	1,073	20.0	
	小計	2,424	94.6	560	24.4	404	17.6	734	32	1,698	74.1	116	5.1	52	2.3	14	0.6	1,880	82.0	413	18.0	
VI	陶芸	2,240	110.7	780	30.2	324	13.1	873	35.2	1,947	78.5	19	0.8	14	0.6	28	1.1	2,008	81.0	472	19.0	
	玩具	4,664	102.3	1,310	27.4	728	15.3	1,607	33.7	3,645	76.4	135	2.8	66	1.4	42	0.9	3,888	81.5	885	18.5	
	小計	1,211	109.8	228	17.1	49	3.7	377	28.3	654	49.2	413	31.1	4	0.3	44	3.3	1,115	83.8	215	16.2	
	小計	1,744	133.6	286	12.3	211	9.1	1,335	57.3	1,832	78.6	74	3.2	6	0.3	21	0.9	1,933	83.0	397	17.0	
VII	陶芸	2,955	123.9	514	14.0	260	7.1	1,712	46.8	2,486	67.9	487	13.3	10	0.3	65	1.8	3,048	83.3	612	16.7	
	玩具	1,105	106.4	298	25.3	169	14.4	299	25.4	766	65.1	23	2.0	49	4.2	45	3.9	884	75.2	292	24.8	
	小計	2,519	94.4	524	22.0	448	18.8	953	40.1	1,925	80.9	133	5.6	47	2.0	17	0.7	2,122	89.2	257	10.8	
	小計	3,624	98.1	822	23.1	617	17.4	1,252	35.2	2,691	75.7	156	4.4	96	2.7	63	1.8	3,006	84.6	549	15.4	
VIII	陶芸	2,336	91.1	566	26.6	197	9.3	813	38.2	1,576	74.0	84	3.9	40	1.9	17	0.8	1,717	80.6	412	19.4	
	玩具	1,504	133.2	293	22.0	79	5.9	699	52.5	1,071	80.4	88	6.6	21	1.6	42	3.2	1,222	91.7	110	8.3	
	小計	3,840	90.1	859	24.8	276	8.0	1,512	43.7	2,647	76.5	172	5.0	61	1.8	59	1.7	2,939	84.9	522	15.1	
	小計	2,336	91.1	566	26.6	197	9.3	813	38.2	1,576	74.0	84	3.9	40	1.9	17	0.8	1,717	80.6	412	19.4	

地域	訓練分野	目標達成 一生数		訓練生		自立起業						雇用		トレイナー		就業者合計		進路未確定者				
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
X	測量	562	126.2	709	104	14.7	206	29.1	476	67.1	13	1.8	8	1.1	8	1.1	505	71.2	204	28.8		
	縫製	1,740	93.5	283	167	10.3	558	34.3	1,008	62.0	306	18.8	73	4.5	73	4.5	1,415	87.0	212	13.0		
	食品加工	1,984	117.6	701	137	5.9	882	37.8	1,720	73.7	86	3.7	137	5.9	137	5.9	1,956	83.8	377	16.2		
	小計	4,286	108.9	1,150	408	8.7	1,646	35.3	3,204	68.6	405	8.7	218	4.7	218	4.7	3,876	83.0	793	17.0		
	縫製	1,281	114.2	196	107	7.3	537	36.7	840	57.4	402	27.5	34	2.3	12	0.8	1,288	88.0	175	12.0		
XI	食品加工 (Davao)	2,090	94.7	379	198	10.0	528	26.7	1,105	55.8	514	26.0	48	2.4	19	1.0	1,686	85.2	294	14.8		
	食品加工 (G.S.C)	1,655	124.3	457	207	10.1	663	32.2	1,327	64.5	417	20.3	67	3.3	24	1.2	1,835	89.2	222	10.8		
	小計	3,026	109.4	1,032	512	9.3	1,728	31.4	3,272	59.5	1,333	24.2	149	2.7	55	1.0	4,809	87.4	691	12.6		
	玩具	2,529	1,778	541	242	13.6	359	20.2	1,142	64.2	173	9.7	21	1.2	86	4.8	1,422	80.0	356	20.0		
	縫製	1,527	1,596	296	63	3.9	216	13.5	575	36.0	648	40.6	19	1.2	67	4.2	1,309	82.0	287	18.0		
CAR*	小計	4,036	83.2	3,374	305	9.0	575	17	1,717	50.9	821	24.3	40	1.2	153	4.5	2,731	80.9	643	19.1		
	食品加工	1,766	118.9	576	228	10.9	646	30.8	1,450	69.0	233	11.1	64	3.0	18	0.9	1,765	84.0	335	16.0		
	玩具	2,243	102.5	621	324	14.1	648	28.2	1,593	69.3	116	5.0	84	3.7	23	1.0	1,816	79.0	483	21.0		
	小計	4,009	109.7	1,197	552	12.5	1,294	29.4	3,043	69.2	349	7.9	148	3.4	41	0.9	3,581	81.4	818	18.6		
	玩具	1,988	1,058	205	120	11.3	303	28.6	628	59.4	30	2.8	23	2.2	112	10.6	793	75.0	265	25.0		
NCR*	食品加工 (Proj.7)	1,998	76.2	226	108	7.1	817	53.7	1,151	75.6	53	3.5	12	0.8	18	1.2	1,234	81.1	288	18.9		
	食品加工 (S.J.)	2,449	72.6	338	162	9.1	720	40.5	1,220	68.6	273	15.3	41	2.3	13	0.7	1,547	87.0	232	13.0		
	縫製 (Proj.4)	1,168	1,193	141	44	3.7	401	33.6	586	49.1	349	29.3	38	3.2	29	2.4	1,002	84.0	191	16.0		
	縫製 (E.S.)	1,403	1,511	240	33	2.2	315	20.8	588	38.9	768	50.8	16	1.1	11	0.7	1,383	91.5	128	8.5		
	縫製 (S.N.)	1,560	1,456	133	26	1.8	322	22.1	481	33.0	687	47.2	11	0.8	7	0.5	1,186	81.5	270	18.5		
NTCLWVD*	縫製 (Makati)	1,574	1,553	251	31	2.0	261	16.8	543	35.0	518	33.4	16	1.0	180	11.6	1,257	80.9	296	19.1		
	小計	12,140	10,072	1,534	524	5.2	3,139	31.2	5,197	51.6	2,723	27.0	157	1.6	370	3.7	8,447	83.9	1,625	16.1		
	縫製	4,245	3,340	298	64	1.9	1,126	33.7	1,488	44.6	1,106	33.1	36	1.1	309	9.3	2,939	88.0	401	12.0		
	玩具	1,919	1,328	88	15	1.1	522	39.3	625	47.1	263	19.8	4	0.3	144	10.8	1,036	78.0	292	22.0		
	食品加工	1,995	1,18.0	206	135	5.7	1,213	51.5	1,554	66.0	304	12.9	40	1.7	33	1.4	1,931	82.0	424	18.0		
小計	8,159	7,023	592	214	3.0	2,861	40.7	3,667	52.2	1,673	23.8	80	1.1	486	6.9	5,906	84.1	1,117	15.9			
合計		70,020	67,219	96.0	13,018	19.4	6,211	9.2	23,185	34.5	42,414	63.1	10,699	15.9	1,015	1.5	1,830	2.7	55,958	83.2	11,261	16.8

出典：DSWD

*CAR: Cordillera Administrative Region

*NCR: National Capital Region

*NTCLWVD: National Training Center and Laboratory for Women's Welfare and Development

表2.15 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1995年1～11月

地域	訓練分野	訓練生数	自立起業						雇用		トレーナー		保潔作業		職業者合計		進路未確定者	
			DSWDから資金を借りた卒業生		地方自治・NGOから資金を借りた卒業生		自己資金で開業した卒業生		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
			人数	%	人数	%	人数	%										
I	陶芸	270	25	9.3	25	9.3	25	9.3	40	14.8	19	3.7	0	0.0	125	46.3	143	53.7
	玩具	590	19	3.2	41	6.9	246	41.7	10	1.7	33	5.6	0	0.0	349	59.2	241	40.8
	小計	860	44	5.1	66	7.7	271	31.5	50	5.8	43	5.0	0	0.0	474	55.1	386	44.9
II	陶芸	318	150	47.2	50	15.7	32	10.1	10	3.1	5	1.6	0	0.0	247	77.7	71	22.3
	縫製	401	50	12.5	25	6.2	148	36.9	71	17.7	15	3.7	0	0.0	309	77.1	92	22.9
	食品加工	438	125	28.5	60	13.7	115	26.3	43	9.8	20	4.6	0	0.0	363	82.9	75	17.1
小計	1,157	325	28.1	135	11.7	295	25.5	124	10.7	40	3.5	0	0.0	919	79.4	238	20.6	
III	陶芸	75	0	0.0	0	0.0	0	0.0	52	69.3	0	0.0	9	12.0	61	81.3	14	18.7
	縫製	285	50	17.5	29	10.2	79	27.7	65	22.8	5	1.8	0	0.0	228	80.0	57	20.0
	食品加工	688	75	10.9	35	5.1	336	48.8	10	1.5	13	1.9	0	0.0	469	68.2	219	31.8
小計	1,437	125	8.7	64	4.5	415	28.9	87	6.0	18	1.3	0	0.0	562	39.1	870	60.9	
IV	縫製 (BAT)	282	3	1.1	55	19.5	31	11.0	104	36.9	1	0.4	0	0.0	194	68.8	88	31.2
	縫製 (GMA)	283	0	0.0	0	0.0	55	19.4	174	61.5	0	0.0	0	0.0	229	80.9	54	19.1
	縫製 (AU)	121	7	5.8	74	61.2	19	15.7	100	82.6	0	0.0	0	0.0	106	87.6	15	12.4
小計	786	10	1.3	129	16.4	105	13.4	299	38.0	1	0.1	0	0.0	422	53.6	361	45.9	
V	縫製	740	136	18.4	25	3.4	217	29.3	114	15.4	35	4.7	72	9.7	599	80.9	141	19.1
	食品加工	1,045	88	8.4	312	29.9	369	35.3	3	0.3	6	0.6	0	0.0	778	74.4	267	25.6
	小計	1,785	224	12.5	337	18.9	586	32.8	117	6.6	41	2.3	72	4.0	1,377	77.1	408	22.9
VI	縫製/玩具	590	54	9.2	55	9.3	208	35.3	73	12.4	0	0.0	0	0.0	390	66.1	200	33.9
	食品加工	899	296	32.9	89	9.9	191	21.2	15	1.7	0	0.0	0	0.0	591	65.7	308	34.3
	小計	1,489	350	23.5	144	9.7	399	26.7	88	5.9	0	0.0	0	0.0	981	65.8	509	34.2
VII	縫製	640	7	1.1	5	0.8	114	17.8	425	66.4	0	0.0	0	0.0	551	86.1	89	13.9
	食品加工	707	55	7.8	30	4.2	427	60.4	20	2.8	3	0.4	0	0.0	535	75.7	172	24.3
	小計	1,347	62	4.6	35	2.6	541	40.2	65	4.8	3	0.2	0	0.0	1,086	80.9	261	19.1
VIII	陶芸	252	124	49.2	0	0.0	75	29.8	5	2.0	0	0.0	0	0.0	204	81.0	48	19.0
	食品加工	513	80	15.6	103	20.1	180	35.1	10	1.9	0	0.0	0	0.0	373	72.7	140	27.3
	小計	765	204	26.7	103	13.5	255	33.3	15	2.0	0	0.0	0	0.0	577	75.4	188	24.6

地域	業種分野	調査引数	自立起業				雇用		トレーナー		保護作業場		就業者合計		道路本線沿者			
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
IX	玩具	679	76	11.2	45	0.6	423	62.3	344	1.8	12	1.8	0	0.0	508	83.7	111	16.3
	織製	310	0	0.0	20	6.5	150	48.4	170	54.8	48	15.5	0	0.0	227	73.2	83	26.8
	織製 (Rizal)	216	50	23.1	34	15.7	22	10.2	106	49.1	25	11.6	0	0.0	142	65.7	74	34.3
	織製 (Pagadian)	187	25	13.4	0	0.0	131	70.1	156	83.4	0	0.0	0	0.0	156	83.4	31	16.6
	食品加工 (Dupitan)	155	25	16.1	29	18.7	27	17.4	81	52.3	15	9.7	0	0.0	106	68.4	49	31.6
	織製 (Ipi)	98	25	25.5	15	15.3	19	19.4	59	60.2	3	3.1	8	8.2	70	71.4	28	28.6
	小計	1,645	201	12.2	143	8.7	772	46.9	1,116	67.8	103	6.3	50	3.0	1,299	77.1	376	22.9
X	陶芸	352	75	21.3	25	7.1	60	17.0	160	45.5	47	13.4	15	4.3	272	77.3	80	22.7
	織製	725	52	7.2	40	5.5	326	45.0	418	57.7	158	21.8	30	4.1	606	83.6	119	16.4
	食品加工	831	177	21.3	101	12.2	393	35.3	571	68.7	13	1.6	25	3.0	609	73.3	222	26.7
	小計	1,908	304	15.9	166	8.7	679	35.6	1,149	60.2	218	11.4	70	3.7	1,487	77.9	421	22.1
	織製	701	60	8.6	267	38.1	104	14.8	431	61.5	90	12.8	56	8.0	577	82.3	124	17.7
	食品加工 (Davao)	1,692	150	8.9	453	26.8	450	26.6	1,053	62.2	436	25.8	53	3.1	1,542	91.1	150	8.9
	食品加工 (G.S.C)	1,469	225	15.4	460	31.5	263	18.0	928	63.6	81	5.5	106	7.3	1,115	76.4	345	23.6
小計	3,853	435	11.3	1,180	30.8	797	20.7	2,412	62.6	607	15.8	215	5.6	3,234	83.9	619	16.1	
XI	玩具	703	75	10.7	65	9.2	223	31.7	363	51.6	85	12.1	15	2.1	463	65.9	240	34.1
	織製	412	100	24.3	31	7.5	100	24.3	231	56.1	53	12.9	12	2.9	321	77.9	91	22.1
	食品加工 (Widapawan)	401	55	13.7	45	11.2	201	50.1	301	75.1	15	3.7	5	1.2	321	80.0	80	20.0
	織製 (Carmen)	104	25	24.0	0	0.0	40	38.5	65	62.5	0	0.0	2	1.9	67	64.4	37	35.6
	小計	1,620	255	15.7	141	8.7	564	34.8	960	59.3	153	9.4	34	2.1	1,172	72.3	448	27.7
	玩具/織製	377	160	42.4	36	9.5	79	21.0	275	72.9	50	13.3	25	6.6	350	92.8	27	7.2
	食品加工	345	130	37.7	70	20.3	86	24.9	286	82.9	6	1.7	25	7.2	317	91.9	28	8.1
小計	722	290	40.2	106	14.7	165	22.9	561	77.7	56	7.8	50	6.9	667	92.4	55	7.6	
CAR	玩具 (Makati)	549	0	0.0	40	7.3	107	19.5	147	26.8	11	2.0	5	0.9	348	63.4	201	36.6
	食品加工 (Proj.7)	571	76	13.3	100	17.5	280	49.0	456	79.9	1	0.2	0	0.0	457	80.0	114	20.0
	食品加工 (San Juan)	551	100	18.1	32	5.8	314	57.0	446	80.9	0	0.0	0	0.0	446	80.9	105	19.1
	織製 (Proj.4)	333	5	1.5	0	0.0	43	12.9	48	14.4	109	32.7	0	0.0	195	58.6	138	41.4
	織製 (E.S.)	357	39	10.9	0	0.0	62	17.4	101	28.3	182	51.0	0	0.0	299	83.8	58	16.2
	織製 (S.N.)	532	20	3.8	0	0.0	135	25.4	155	29.1	32	6.0	0	0.0	213	40.0	319	60.0
	織製 (Makati)	276	0	0.0	0	0.0	55	19.9	55	19.9	136	49.3	1	0.4	215	77.9	61	22.1
小計	3,169	240	7.6	172	5.4	996	31.4	1,408	44.4	471	14.9	6	0.2	2,173	68.6	996	31.4	
NTCLWWD	織製	290	25	8.6	20	6.9	85	29.3	130	44.8	85	29.3	15	5.2	234	80.7	56	19.3
	玩具	397	25	6.3	20	5.0	191	48.1	236	59.4	20	5.0	20	5.0	317	79.8	80	20.2
	食品加工	1,165	175	15.0	50	4.3	530	45.5	755	64.8	65	5.6	28	2.4	848	72.8	317	27.2
	小計	1,852	225	12.1	90	4.9	806	43.5	1,121	60.5	170	9.2	63	3.4	1,399	75.5	453	24.5
	織製	25,265	2,582	10.2	3,070	12.2	8,050	31.9	14,702	58.2	3,149	12.5	660	2.6	19,000	75.2	6,265	24.8
	玩具	25,265	2,582	10.2	3,070	12.2	8,050	31.9	14,702	58.2	3,149	12.5	660	2.6	19,000	75.2	6,265	24.8
	食品加工	25,265	2,582	10.2	3,070	12.2	8,050	31.9	14,702	58.2	3,149	12.5	660	2.6	19,000	75.2	6,265	24.8
小計	25,265	2,582	10.2	3,070	12.2	8,050	31.9	14,702	58.2	3,149	12.5	660	2.6	19,000	75.2	6,265	24.8	

社会福祉事業費費得から作成

表2.16 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1991~94年 (1) 続製

地域	訓練生数	訓練生数 (%)	自立起業				雇用 (%)	トレーナー (%)	保護作業場 (%)	就業者合計 (%)	進路未確認者 (%)
			DSWDから資金を借りた卒業生 (%)	地方政府・NGOから資金を借りた卒業生 (%)	自己資金で開業した卒業生 (%)	合計 (%)					
II	1,029	84.3	13.7	13.0	45.2	71.9	6.8	0.6	1.7	81.0	19.0
III	1,288	83.3	10.6	11.3	18.9	40.9	42.1	0.6	1.3	84.9	15.1
IV (BAM) (GNA) (AU)	1,233	91.6	8.9	7.4	28.0	44.3	37.1	0.3	0.6	82.3	17.7
	1,454	96.0	16.6	4.1	28.7	49.4	30.8	0.6	2.3	83.0	17.0
	291	72.8	19.2	26.1	25.8	71.1	8.2	0.7	0.0	80.1	19.9
V	2,262	146.2	22.6	13.7	24.0	60.3	18.4	0.6	0.6	80.0	20.0
VI *	2,293	94.6	24.4	17.6	32.0	74.1	5.1	2.3	0.6	82.0	18.0
VII	1,330	109.8	17.1	3.7	28.3	49.2	31.1	0.3	3.3	83.6	16.2
IX	1,332	88.6	22.0	5.9	52.5	80.4	6.6	1.6	3.2	91.7	8.3
X	1,627	93.5	17.4	10.3	34.3	62.0	18.8	1.7	4.5	87.0	13.0
XI	1,463	114.2	13.4	7.3	36.7	57.4	27.5	2.3	0.8	88.0	12.0
XII	1,596	104.5	18.5	3.9	13.5	36.0	40.6	1.2	4.2	82.0	18.0
NCR (Proj.4) (E.S.) (S.N.) (Makati)	1,193	102.1	11.8	3.7	33.6	49.1	29.3	3.2	2.4	84.0	16.0
	1,511	107.7	15.9	2.2	20.8	38.9	50.8	1.1	0.7	91.5	8.5
	1,456	93.3	9.1	4.8	22.1	33.0	47.2	0.8	0.5	81.5	18.5
	1,553	98.7	16.2	2.0	16.8	35.0	33.4	1.0	11.6	80.9	19.1
NTCUWWD	3,340	78.7	8.9	1.9	33.7	41.6	33.1	1.1	9.3	88.0	12.0
合計	26,253	96.4	15.7	7.2	29.1	51.9	28.0	1.2	3.3	84.5	15.5

表2.17 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1995年1～11月 (I) 縫製

地域	訓練生数	自立起業				雇用 (%)	トレーナー (%)	保護作業場 (%)	就業者合計 (%)	進路未確認者 (%)	
		DSWDから資金を借りた卒業生 (%)	地方政府・NGOから資金を借りた卒業生 (%)	自己資金で開業した卒業生 (%)	合計 (%)						
II	401	12.5	6.2	36.9	55.6	17.7	3.7	0.0	77.1	22.9	
III	285	17.5	10.2	27.7	55.4	22.8	1.8	0.0	80.0	20.0	
IV	(BAT)	282	1.1	19.5	11.0	31.6	36.9	0.4	0.0	68.8	31.2
	(GMA)	283	0.0	0.0	19.4	19.4	61.5	0.0	0.0	80.9	19.1
	(AU)	121	5.8	61.2	15.7	82.6	5.0	0.0	0.0	87.6	12.4
	(Marinduque)	70	0.0	0.0	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0	71.4	28.6
	(Lucena)	17	0.0	29.4	58.8	88.2	0.0	0.0	0.0	88.2	11.8
V	740	18.4	3.4	29.3	51.1	15.4	4.7	9.7	80.9	19.1	
VI *	(Antique)	590	9.2	9.3	35.3	53.7	12.4	0.0	0.0	66.1	33.9
		124	40.3	16.1	8.1	64.5	4.8	8.1	0.0	77.4	22.6
VII	640	1.1	0.8	17.8	19.7	66.4	0.0	0.0	86.1	13.9	
IX	(Rizal)	310	0.0	6.5	48.4	54.8	15.5	2.9	0.0	73.2	26.8
	(Pagadian)	216	23.1	15.7	10.2	49.1	11.6	5.1	0.0	65.7	34.3
	(Ipil)	187	13.4	0.0	70.1	83.4	0.0	0.0	0.0	83.4	16.6
		98	25.5	15.3	19.4	60.2	3.1	8.2	0.0	71.4	28.6
X	725	7.2	5.5	45.0	57.7	21.8	4.1	0.0	83.6	16.4	
XI	701	8.6	38.1	14.8	61.5	12.8	8.0	0.0	82.3	17.7	
XII	(Camarines Sur)	412	24.3	7.5	24.3	56.1	12.9	2.9	6.1	77.9	22.1
		104	24.0	0.0	38.5	62.5	0.0	1.5	0.0	64.4	35.6
CAR *	377	42.4	9.5	21.0	72.9	13.3	6.6	0.0	92.8	7.2	
NCR	(Proj 4)	333	1.5	0.0	12.9	14.4	32.7	0.0	11.4	58.6	41.4
	(E.S.)	357	10.9	0.0	17.4	28.3	51.0	0.0	4.5	83.8	16.2
	(S.N.)	532	3.8	0.0	25.4	29.1	6.0	0.0	4.9	40.0	60.0
	(Makati)	276	0.0	0.0	19.9	19.9	49.3	0.4	8.3	77.9	22.1
ICLWWD	290	8.6	6.9	29.3	44.8	29.3	5.2	1.4	80.7	19.3	
合計	8,473	11.1	8.9	26.8	46.9	24.0	2.8	2.4	76.0	24.0	

社会福祉事業省資料から作成

注*：縫製と玩具の合計の数値

表2.18 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1991～94年 (2) 食品加工

地域	訓練生数	訓練生数 (%)	自立起業				雇用 (%)	トレーナー (%)	保護作業場 (%)	就業者合計 (%)	進路未確認 者 (%)
			DSWDから資 金を借りた卒 業生 (%)	地方政府・ NGOから資金 を借りた卒業 生 (%)	自己資金で開 業した卒業生 (%)	合計 (%)					
III	115	51.1	0.0	0.0	87.0	87.0	0.0	0.0	87.0	13.0	
IV (G.T)	2,089	90.3	29.2	14.3	80.2	36.7	6.2	0.8	88.0	12.0	
V	3,100	137.2	20.0	11.8	72.9	41.0	5.4	1.1	80.0	20.0	
VI	2,480	110.7	30.2	13.1	78.5	35.2	0.8	0.6	81.0	19.0	
VII	2,330	133.6	12.3	9.1	78.6	57.3	3.2	0.3	83.0	17.0	
VIII	2,379	94.4	22.0	18.8	80.9	40.1	5.6	2.0	89.2	10.8	
X	2,333	117.6	30.0	5.9	73.7	37.8	3.7	0.6	83.8	16.2	
XI (Davao)	1,980	94.7	19.1	10.0	55.8	26.7	26.0	2.4	85.2	14.8	
(G.S.C)	2,057	124.3	22.2	10.1	64.5	32.2	20.3	3.3	89.2	10.8	
CAR	2,100	118.9	27.4	10.9	69.0	30.8	11.1	3.0	84.0	16.0	
NCR (Proj.4)	1,522	76.2	14.8	7.1	75.6	53.7	3.5	0.8	81.1	18.9	
(S.J)	1,779	72.6	19.0	9.1	68.6	40.5	15.3	2.3	87.0	13.0	
NTCLWWD	2,355	118.0	8.7	5.7	66.0	51.5	12.9	1.7	82.0	18.0	
合計	26,619	39.4	21.3	10.6	72.4	40.5	9.0	1.5	84.3	15.7	

社会福祉事業省資料から作成

表2.19 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1995年1～11月 (2) 食品加工

地域	訓練生数	自立起業			雇用 (%)	トレーナー (%)	保証作業場 (%)	就業者合計 (%)	進路未確認者 (%)	
		DSWDから資金を借りた卒業生 (%)	地方政府・NGOから資金を借りた卒業生 (%)	自己資金で開業した卒業生 (%)						
II	438	28.5	13.7	26.3	68.5	9.8	4.6	0.0	82.9	17.1
III	688	10.9	5.1	48.8	64.8	1.5	1.9	0.0	68.2	31.8
IV	738	22.8	0.0	30.4	53.1	3.9	0.1	0.0	57.2	42.8
V	1,045	8.4	29.9	35.3	73.6	0.3	0.6	0.0	74.4	25.6
VI	899	32.9	9.9	21.2	64.1	1.7	0.0	0.0	65.7	34.3
VII (Bohol)	707	7.8	4.2	60.4	72.4	2.8	0.4	0.0	75.7	24.3
VIII	267	7.5	3.4	45.7	56.6	21.7	3.7	0.0	92.0	18.0
IX (Dapitan)	513	15.6	20.1	35.1	70.8	1.9	0.0	0.0	72.7	27.3
X	831	21.3	12.2	35.3	68.7	1.6	3.0	0.0	73.3	26.7
XI (Davao)	1,692	8.9	26.8	26.6	62.2	25.8	3.1	0.0	91.1	8.9
(G.S.C)	1,460	15.4	31.5	16.6	63.6	5.5	7.3	0.0	76.4	23.6
XII (Kidapawan)	401	13.7	11.2	50.1	75.1	3.7	1.2	0.0	80.0	20.0
CAR	345	37.7	20.3	24.9	82.9	1.7	7.2	0.0	91.9	8.1
NCR (Proj.7)	571	13.3	17.5	49.0	79.9	0.2	0.0	0.0	80.0	20.0
(San Juan)	551	18.1	5.8	57.0	80.9	0.0	0.0	0.0	80.9	19.1
NTCLWWD	1,165	15.0	4.3	45.5	64.8	5.6	2.4	0.0	72.8	27.2
合計	12,466	16.2	15.9	35.2	67.3	6.6	2.4	0.0	76.3	23.7

社会福祉事業省資料から作成

表2.20 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1991～94年 (3) 玩具

地域	訓練生数	訓練生数 (%)	自立起業				雇用 (%)	トレーナー (%)	保護作業場 (%)	就業者合計 (%)	進路未確認者 (%)
			DSWDから資金を借りた卒業生 (%)	地方政府・NGOから資金を借りた卒業生 (%)	自己資金で開業した卒業生 (%)	合計 (%)					
I	2,138	96.3	18.8	6.3	53.1	78.3	1.4	2.1	0.2	82.0	18.0
III	23	8.5	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
VI *	2,293	94.6	24.4	17.6	32.0	74.1	5.1	2.3	0.6	82.0	18.0
IX	2,129	91.1	26.6	9.3	38.2	74.0	3.9	1.9	0.3	80.6	19.4
XII	1,778	70.3	30.4	13.6	20.2	64.2	9.7	1.2	4.8	80.0	20.0
CAR	2,299	102.5	27.0	14.1	28.2	69.3	5.0	3.7	1.0	79.0	21.0
NCR	1,058	53.2	19.4	11.3	28.6	59.4	2.8	2.2	10.6	75.0	25.0
NTCLWWD	1,328	69.2	6.6	1.1	39.3	47.1	19.8	0.3	10.8	78.0	22.0
合計	13,046	81.9	22.9	11.0	34.8	68.7	6.2	2.1	3.1	80.0	20.0

社会福祉事業省資料から作成
注*: 玩具と縫製の合計の数値

表2.21 社会福祉事業省婦人職業訓練所の訓練生数と卒業後の進路 1995年1～11月 (3) 玩具

地域	訓練生数	自立起業				雇用 (%)	トレーナー (%)	保護作業場 (%)	就業者合計 (%)	進路未確認者 (%)
		DSWDから貸金を借りた卒業生 (%)	地方政府・NGOから貸金を借りた卒業生 (%)	自己資金で開業した卒業生 (%)	合計 (%)					
I	590	3.2	6.9	41.7	51.9	1.7	5.6	0.0	59.2	40.8
III	143	35.0	17.5	5.6	58.0	5.6	3.5	0.0	67.1	32.9
VI *	590	9.2	9.3	35.3	53.7	12.4	0.0	0.0	66.1	33.9
IX	679	11.2	6.6	62.3	80.1	1.8	1.8	0.0	83.7	16.3
XII	703	10.7	9.2	31.7	51.6	12.1	2.1	0.0	65.9	34.1
CAR *	377	42.4	9.5	21.0	72.9	13.3	6.6	0.0	92.8	7.2
NCR (Makati)	549	0.0	7.3	19.5	26.8	2.0	0.9	33.7	63.4	36.6
INTCLWWD	397	6.3	5.0	48.1	59.4	5.0	5.0	10.3	79.8	20.2
合計	4,028	11.4	8.1	36.9	56.4	6.7	2.9	5.6	71.5	28.5

社会福祉事業省資料から作成

注*：玩具と縫製の合計の数値

2.5 環境への影響

本計画によって婦人職業訓練所の機材整備を実施することで環境への影響があるかどうか、訓練コース別に検討することとする。

(1) 縫製コース

縫製コースにおいて使用する機材は、各種ミシン類などで電気をいくらか多く消費することになるだけで環境への影響はない。

(2) 食品加工コース

食品加工コースにおいては、野菜、肉、魚、果物などの生鮮物を利用して訓練が行われる。そのため、生ゴミがでることとなるが、これを適切に廃棄処理に出すことで環境への影響はないと判断される。

(3) 玩具製作コース

このコースは、縫製コースと同様に使用するのはミシン類であり、環境への影響はない。

(4) ホームエイドサービスコース

このコースでは、家事・育児にかかわる機材の取り扱い方等につき訓練することが目的であり、特に環境に影響を与えることはない。

(5) 機織りコース

このコースでは、機織り機、ミシン類を使用して、機織りの技術ならびに織った布の加工・製品化技術を身につける。地域により、バイナップルの繊維やアバカと呼ばれる横維を使用する場合、染色・柔軟化のため化学薬品・染料を用いることもある。その種類としては、過酸化水素、洗浄剤、炭酸ソーダ、珪酸ナトリウム、氷酢酸がある。過酸化水素、洗浄剤は処理を行う必要はない。炭酸ソーダ、珪酸ナトリウム、氷酢酸は、処理剤を用いて中和処理することで環境への影響を防ぐことができる。染料を使用した場合、そのまま下水などに流さず、ペントナイトやケイソウ土及び活性炭等で沈殿、ろ過させる方法をとることで色素を吸着させ環境への影響を防ぐことができる。

以上の検討結果から、婦人職業訓練所への機材整備を実施することによる、環境への悪影響はないものと考えられる。

第3章 プロジェクトの内容

3.1 プロジェクトの目的

フィリピン国の国家開発計画である中期開発計画（1993-1998）では、1998年までに達成することを目標とする経済指標として、一人当たりの所得を1200ドルに引き上げること、貧困率を30%以下に低減させること、失業率を10%以下にすること、年経済成長率を10%以上とすること、インフレ率を6%以下に引き下げること等を掲げている。また、フィリピンジェンダー配慮開発計画（1995-2025）では、「非伝統的分野の職業への女性の参加の奨励」と「地方の女性が開発プログラムに参加し生計創出、生産性を高める技術、労働を軽減するための技術へのアクセスを容易にするメカニズムの確立」をかねて、女性の社会参加を促すことを重要視している。

本プロジェクトは、これら開発計画の中で重点開発項目として位置付けられている人的資源開発や女性の社会参加に対して、婦人職業訓練所の機材整備を行うことにより、労働意欲がありながら雇用の機会に恵まれない都市及び地方の貧困ラインを下回っている家庭に属する婦人の現状を解決するため、婦人のさらなる職業訓練の強化・拡大を通じて経済的自立を図り、収入を得る道を開くことを目的とするものである。

3.2 プロジェクトの基本構想

3.2.1 プロジェクトの必要性・妥当性

(1) 上位計画からの検討

フィリピン中期国家開発計画（1993-1998）は収入の水準を上げ、収入の幅を広げ、収入の改善を維持するといった観点から人的資源の開発に高い優先順位を与えている。本計画ではその実施により婦人が収入を得る機会を持つために必要な技術を供与することが期待されている。

訓練修了者は2種類の選択があり、一つは農村地帯にある既存の製造工場で働くといった正規分野における被雇用、もう一つは非正規分野の一部となる自営業（家内工業）である。非正規分野での労働はまた2つの事柄を意味している。つまり、製造工場や下請け業者からの下請け仕事を引き受けるか、新規に取得した技術を使って新規事業を開始するかである。

どちらにしても、訓練修了者は新規に取得した技術を使って、「特に収入を貧困ラインより上に向上させる」という彼らの基本的欲求を満たすことが出来ることになる。事業に乗り出すこれら修了者は、また「自営と高生産性を求める起業家集団の基礎を発展させる」ことを助けることになる。

1991年から1994年までの生産技術能力建設センター修了生の社会福祉事業省雇用状況報告

によると修了生の83.1%が職を得ており、この内63.1%が自営業（19.4%は社会福祉事業省の自己支援プログラム、9.2%は地方政府及び民間支援組織ファンド、34.5%は自己資本）で、15.9%は一般雇用され、1.5%はトレーナーとなり、2.5%はコミュニティ等での生産集団あるいは個人での下請け業従事となっている。

社会福祉事業省は生産技術能力建設プロジェクトの評価を民間に委託して実施しており、この調査では1991年から1992年の修了生の30%を網羅している。この調査報告書（"Extent of Implementation and Impact of the Project" conducted by the Center for Research and Communication）によるとこれら修了生の36%が月に500ペソから1,000ペソの追加収入を稼ぎ、26%が月に500ペソあるいはそれ以下の収入、25%が1,000ペソから2,000ペソの収入で13%だけが2,000ペソを越える収入を毎月得ている。訓練修了者の潜在的収入向上能力を測るために次の婦人少年労働者局による調査データを参照する。

分野	家内業における時間あたり可能な平均収入		
	自営業	下請け	組織集団
a) 縫製			
家着	P3.30	P1.80	
ドレス	P12.60	P5.00	P3.80
スカート	P15.00	P4.80	
ポロシャツ	P7.50	P6.20	
ズボン	P12.50		
ブラウス/スカートの対	P12.00		
幼児着	P12.50	P14.00	P5.22
b) 食品加工			
現地のケーキ類	P10.00		
c) 機織り			
マロングリ		P4.20	
ツバオリ		P11.90	P7.50
d) 玩具製造			
			P5.30

Source: "Terms and Conditions of Work of Rural Women Homemaker"
by Bureau of Women and Young Workers

1) マロング (Malong): ムスリム女性によく使われる伝統的な布。長方形で両端を縫い合わせた形をしている。わきの下から足首まで体を覆うことが出来る。

2) ツバオ (Tubao): ムスリムの男性が一般的に頭にまきつける大きな手織りのターバン。

上の資料によると所得は技術、一日で完成する数量そして家内業に費やす時間によって決まることになる。

さらに、この委託調査によると訓練修了者が稼いだ収入のほとんどが食糧や衣類といった基本的な要求を満たすために使われている。次に多いのが電気、水道といったユーティリティ費用である。その次に大きな支出は修了生の子供達のためあるいは独身の場合には兄弟姉妹のためと推定できる教育費と交通費や食費といった学校関連費用である。

以上の通り、訓練修了生の収入向上予測は、社会福祉事業省訓練コース終了後と訓練終了後可能となる融資の利用後、良くなっている。このように本計画はフィリピン中期開発計画の目的を達成する大きな支援となっており、裨益者を増やすためにはその適用範囲を拡大する必要があり、もっと多くの地域で実施されることが必要である。第1次計画の実績からも本計画実施の効果と意義は大きいものと言える。

(2) 類似プロジェクトとの関連性

a) フィリピン人的資源開発センター

フィリピン人的資源開発センターの農村生計向上プロジェクトは農村の生計を付与するという本計画と類似した目的を持っている。両者とも地域密着型であるが人的資源開発センターのプロジェクトは次に述べる通り、関連活動の点において異なる接近法をとっていると言える。

- i) 計画と技術サービス
- ii) 生計及び起業増進
- iii) 人的資源訓練開発
- iv) マスメディアソフトウェア開発
- v) 海洋養殖

一方、本計画はより人的資源訓練開発に焦点を当てている。また本計画の適用地域がより広い範囲に渡っているのに対し、このプロジェクトは3ヶ所のプロジェクト地域に限られている。

b) TESDA

現在 TESDA より日本政府に要請されている国立婦人職業訓練センター設立計画は婦人と技術向上への優先を一致させており、本計画を支援するものと観測されている。その訓練、研究開発それに配慮は婦人の関心を支援するのに重要である。本計画と関連する分野は次の通りである。

本計画分野

TESDA プロジェクト

i) 食品加工

i) 農産加工

醗酵と生化学

乾燥と薫製

缶詰と瓶詰

試験と品質管理

ii) ホームエイドサービス

ii) ホテルとレストラン

料理と飲料サービス

調理と料理の盛り付け

客室準備及び整備

フロントデスク運営管理

iii) 縫製

iii) 織物

デザインと型製作

工業刺繍

工業縫製

ドライクリーニング

iv) 玩具製造

iv) 手芸、贈物及び家庭用品

革工芸

ホームデコ及びノベルティ

縫いぐるみ人形

竹・藤工芸

TESDAはその地区訓練センターを通じて、トレーナーの供給源、社会福祉事業省トレーナーの既存技術を向上させかつ個別分野の知識を向上させるための機関として本計画を支援することが期待される。また、現在行っている訓練修了生に対する技量熟練度に対する証明書を発行することの他に、社会福祉事業省訓練修了者に対する仕事の照会、職業分析等といった訓練後支援サービスを行うことが可能である。

(3) WID、社会分析からの検討

1991年のフィリピンの全世帯数11,975,400のうちの40.7%、487万世帯余りが貧困ラインを下

回っており (1994 Manpower Factbook, TESDA)、特に農村部の貧困世帯の割合は都市部の 31.0% と比べて 47.2% と高くなっている (Philippine Country Report on Women NCRFW, 1995)。農村部の貧困世帯数は 285 万前後に上るものと予想されている。

1991 年の統計によると農村部の平均年間所得は 41,199 ペソ (月 3,433 ペソ) で都市部の半分以下であり、同年の全国平均貧困ライン月所得 3,675 ペソを 200 ペソ以上も下回っている。

1991 年の世帯数と平均収入

地域	世帯数	平均収入
都市部	5,938,500	89,571 ペソ
農村部	6,036,900	41,199 ペソ
全国	11,975,400	65,186 ペソ

出典：1994 Philippine Yearbook by National Statistics Office

中期開発計画によると貧困比率は 1985 年の 44.2% から 1991 年の 40.7% に改善しているが、実際には急激な人口増加により、貧困ラインを下回る世帯は 1988 年から 1991 年にかけて 460,130 世帯増加している。

国家統計局 (NSO) および女性の役割国家委員会 (NCRFW) によって発行されたフィリピン女性に関する統計によれば、フィリピンの不利な条件下にある女性の統計、経済的プロフィールは次の通りである。

- a) 1990 年の人口のうち 3,000 万人は女性である。このうち、430 万人は不利な条件下にある女性であると予想される。
- b) DSWD の調査によれば不利な条件下にある女性の 40% が 25 歳から 34 歳で、次に大きな割合を占めるのは 35 歳から 44 歳である。
- c) 不利な条件下にある女性の 5 人に 4 人が既婚である。
- d) これらの結婚している女性の 5 人に 2 人が 1 人から 3 人の子供を持ち、半分人以上が 4 人以上の子供をもっている。12% が 7 人から 9 人の子供を持ち、1.4% が 10 人あるいはそれ以上の子供を持ち、3.4% だけが子供を持たない。
- e) 不利な条件下にある女性のほぼ半数が主婦で、そのうち 31% が小間物店で働き、12% が農婦として働いている。
- f) 不利な条件下にある女性の約 30% が学歴が無く、3 分の 2 が初等教育を修了している。
- g) 不利な条件下にある女性の 5 人に 1 人が健康や栄養の訓練に参加している。
- h) 不利な条件下にある女性の約 5% の夫は無職である。
- i) 不利な条件下にある既婚女性の 58% の夫の職業は漁師、肉体労働者、農民である。

- j) 不利な条件下にある女性のおよそ半分が無収入で、これら女性達の家庭のほとんどは月に1,000ペソあるいはそれ以上の収入を得ている。

上に述べた女性のプロフィールは本計画の対象とする女性像でもある。1991年から1992年の社会福祉事業省婦人訓練所の修了生30%を網羅する社会福祉事業省の民間委託調査("Extent of Implementation and Impact of the Project" conducted by the Center for Research and Communication)によれば、修了生の70%が既婚であり、修了生の1世帯当り人数は国内平均を上回っており、修了生の40%は中等学校を修了しておらず、修了生のほとんどが訓練に参加する前にいかなる収入の手段も持っていなかったという結果がでている。社会福祉事業省によると1990年時点で430万人のうち150万人が生計/雇用の機会を必要としている。

女性の生計/雇用を奪っている要因として低い教育レベル、雇用に見合った技術の欠如、働く女性に対する偏見、収入への貢献者としての女性の能力に対する社会の否定的な姿勢、女性に対する信用供与への機会の制限と不足、乏しい意欲、生計/雇用機会の都市部への集中と家庭での女性の様々な仕事等が上げられている。

本計画は、主として、現場で社会サービスを実施し現場に密着しているDSWD及び各地方政府の社会福祉事務所のソーシャルワーカーを通じて訓練生を募集し、訓練を実施する。訓練資格者は、18歳から59歳までの女性で、ほぼフィリピン政府が定める貧困ライン以下の世帯に属しており、その多くは雇用機会の少ない農村部に居住している。訓練に参加した女性で途中で止める参加者はほとんどなく、訓練を受けた女性の80%が就業の機会を得ることに成功しており、訓練効率は非常に高い。訓練後就業により所得を得ることが出来るようになったことにより、家計を助けるだけでなく、女性自身に自信が生まれてきていると言われる。女性の自立、自覚が家族、コミュニティに与える波及効果を高めるために、社会福祉事業省では、事業運営管理技術、環境衛生、保険、地域参加、リーダーシップ訓練、自己開発、ジェンダー等のセミナーを開催して、支援している。

社会福祉事業省は1次計画の実績と経験から、運営資金の調達、人材の確保、運営等に政府を含めた各方面からの協力と支持を得ている。また、本計画においては州、市、町からの施設、人材及び維持管理の提供、上院議員地方開発ファンドによる施設の改修あるいは新築への援助、NGOの資金的協力等が決定しており、全国的に注目され、また関心が寄せられていることがわかる。

本計画は、フィリピン中期開発計画の「貧困の撲滅」、ジェンダー配慮計画の「女性の国家開発への参画」という目標を実現するための重要な手段となっており、本計画実施により量、質、面積の上での拡大が可能になり、その果たす効果は非常に大きい。社会福祉事業省では1995年の1年間で59ヶ所の訓練所で25,000名以上の女性を訓練しており、本計画実施によりさらに年間14,000人前後の女性への訓練が可能となると予想されており、生計/雇用の機会を必要とし

ている150万人（1991年時点）の女性の約2.6%を毎年訓練することが可能となる。しかも、このうちの大部分が何らかの就業の機会を得ると考えられ、農村部における所得と女性の地位向上に果たす役割は大きいものと期待されている。

雇用の機会が限られている農村部では、生計/雇用のための職業訓練は女性が経済的、社会的に自立してゆく過程で大きな役割を担っており、収入創出活動は家族の生活を経済的にも精神的にも豊かにすることに大きく貢献している。

（4）サイトの立地条件からの検討

訓練分野により、訓練終了後の就業機会があるかどうか、製品等を販売するうえで地域状況が適しているかどうか、原材料調達がしやすい状況にあるかどうか等、立地条件に見合った訓練所サイトであることが重要である。各訓練所毎に、そのサイトの立地条件を把握し訓練分野の必要性を検討した。計画対象訓練所周辺の状況は、表3.1に示す通りである。各訓練所の立地条件と計画している訓練分野と整合性があり、訓練所サイトとして妥当と判断される。

表3.1 計画対象訓練所の立地に対する検討

No.	地域	州	市	町	訓練分野	訓練所サイトの立地条件
1	I	Ilocos Norte	Laog City		縫製	北イロコス州の州都でラオアグ市はアイリビンの最北に位置し、80のバランガイを持つ政令都市である。地域的に北部の取引所として産業が盛んである。
2	"	La Union	Bangar		機織り	ラユニオン州の州都サンフェルナンドから車で1時間弱の距離にあるバンが一地方市は機織りを主産業としている。市内には中小規模の機織り工場があり訓練卒業生の需要が見込まれる。
3	"	La Union	San Fernando		食品加工	ラユニオン州の州都サンフェルナンドは北部ルソン島のリゾート地で、中小の商店街、ホテル、レストランが多く訓練卒業生の雇用機会が多い。
4	"	Pangasinan	Dagupan		食品加工	ダグパン市は、アグノ川河口に位置し、31のバランガイからなる政令市である。ミルクフイッシーや淡水海老の養殖地が多く、マンゴ、ココナッツ、野菜等の生産の盛んな地域である。
5	II	Nueva Viscaya	Bayombong		食品加工	ヌエバビスカヤ地方は、果物、野菜等豊富であるが、保存技術は知られていない。さらに、この地方の女性には収入の方法がなく豊かな産物を加工保存することが、これら女性達の経済活動食肉加工工場が2箇所、他に家畜、野菜の産地であり小規模の食品加工業者は多いので訓練卒業生の需要は多い。
6	III	Bulacan	San Jose del Monte		食品加工	北部ルソンの交易の要所で、農産物の加工原料の豊富で訓練卒業生はレストラン又は農産物加工の自立起業を目指す。
7	"	Nueva Ecija	Cabanatuan City		食品加工	北部ルソンの交易の要所で、農産物の加工原料の豊富で訓練卒業生はレストラン又は農産物加工の自立起業を目指す。
8	"	Tarlac	Tarlac		縫製	電線工場、半導体部品工場、砂糖工場等20~30の工場がある。工業団地の整備が進む地方工業都市である。
9	"	Zambales	Iba		食品加工	小規模産業が盛んで、マンゴ、ゴマ、ナッツ類、モンゴ豆の産地であり、海岸に面しているので漁業も盛んで、食品加工原料調達容易である。
10	IV	Batangas	Padre Garcia		縫製	内陸部に位置するバタンガス州の地方市で、衣料産業の盛んな地域である。
11	"	Cavite	Tagaytay City		食品加工	カビテ州の政令都市で、生鮮食品が豊富であり付近の工業化も進み、工場の食堂、レストラン等訓練卒業生の需要は多い。
12	"	Cavite	Tanza		縫製	政令市であるタンザ市は輸出特別促進地区に指定され、国内外の衣料生産工場が多く、縫製技術者の需要が多い。
13	"	Laguna	Sta. Cruz		縫製、食品加工	ラグナ地区は衣料工場が多く訓練卒業生の就業機会が多い。肉、野菜、果物の産地で食品加工訓練の要請も高い、また、工場が多くこの方面の就業機会もある。
14	"	Marmduque	Boac		縫製	マリンドウケ島に位置し、衣料工場が建設される見込みもあり高内の需要が高く訓練所開設が待たれる。
15	"	Mindoro Oriental	Calapan		食品加工	真ミンドロ州でルソン島のバタンガスから高速船で60分程度で交通、流通等便は良い、水産加工及び農産物が盛んである。
16	"	Quezon	Lucena City		縫製	ケソン州の州都ルセナ市は衣料産業の盛んな地域で、訓練卒業生の就業機会が多い。
17	"	Rizal	Cainta		縫製	主都マニラの郊外に位置し、新興都市として開発中である。周囲に工場があり訓練生の需要は多い。

No.	地	域	州	市	町	訓練分野	訓練所サイトの立地条件
18	"	Romblon		Odiongan		縫製	タラサス島に計画訓練所は位置し、生活必需品はマニラに頼っている状況から訓練卒業生が製作する衣料を島内及びマニラに販売可能である。
19	V	Catanduanes		Virac		機織り	カントドアス州、ピラタ市は織り物産業が盛んで要請内容に、この産業への就業機会が多く、カントドアス州のみならず国家経済をも活発にするとある。
20	"	Sorsogon		Irosin		機織り	繊維原材料の農場があり、これを原材料に織った織物は、国内の裕福な人々や海外からの需要の高い織物である。これらは、ファッションデザイナーや高級洋品店で扱われる。
21	VI	Antique		San Jose		縫製	アンテナーク地方には、既製服の工場がない、また洋裁師や仕立て屋も少なくイロイロ市に高い物に行く。これらを解消するためにも縫製訓練所が要請される。
22	"	Guimaras		San Miguel, Jordan		縫製	ギマラス島に位置するサンミゲル市は、対岸のイロイロ市に購買拠点を求めているので、訓練卒業生を輩出しこれら産業に対応したい。
23	VII	Bohol		Tagbilaran City		食品加工	ボホール地区には、果物、野菜の産物が多く、食品加工及び保存技術を修得し、市内、及び近隣への販売が容易である。
24	"	Cebu		Cebu city		縫製, ホーム エイドサービス 玩具	観光地域で、レストレン、ホテル、リゾート施設、ペンションハンハウス等多く訓練されたハウスキーパーの需要は多い。また衣料については、縫製工場がありこの方面の就業機会もある。
25	"	Metro Cebu		Mandaue City		玩具	この地域には、中流以上の家庭の割合が多く、縫いぐるみ人形等の完成品の購買者となり得ている。さらに、優れた技術技能の持ち主を要請している玩具製作工場がある。
26	"	Negros Oriental		Bals City		食品加工	バリス市は、農産物、特に果物、野菜が豊富で、これらを販売するための食品加工と保存技術の要請が高い。
27	"	Negros Oriental		Dumaguete City		縫製	デユマングテ市は、衣料工場を含め工場の誘致によって都市化された地域である。これらの背景から訓練卒業生の受け入れは十分ある。
28	"	Negros Oriental		Carlaon		食品加工	この地域での主たる生活手段は農業である。保存の必要な豊富な野菜、果物に恵まれている。そのため故(訓練センターができれば)より多くの農産物が保存され、生活改善となる。
29	VIII	Leyte		Ormoc City		縫製	オルモック市は、今後人口が増加する事が見込まれ、衣料の需要が高くなる。現在衣料店は少なく、縫製の加工賃が高い状況にある。特に洪水の被害に遭った女性達は、販売目的の縫製技術を得られる機会を強く要請している。
30	"	Leyte		Tacloban City		縫製	タクロバン市は、第一次産品の豊富なレイテ州州都である。商店や衣料工場があるが、また訓練センター卒業生を受け入れるには至っていない。訓練技術は自営、起業活動に生かされている。上着、ドレス、等を縫い上げ、タクロバン市や近郊のマーケットでの販売が見込める。
31	"	Northern Samar		Catarman		縫製, 食品加工	人口が増加し、衣料需要が高くなる。衣料店はとも少ないうので、縫製の付加価値は高い。特に洪水の被害に遭った女性達は自分たちの衣類をまかなうばかりでなく、販売目的のための縫製技術を得られる機会を強く要請している。
32	"	Southern Leyte		Maasin		食品加工	マーションは農業地帯である。マーション地方局は、一村一品運動を推進している。食品加工訓練技術は、根菜、果物、等豊富な生鮮食品の加工業務に最適である。
33	IX	Basilan		Isabela		食品加工	魚や家畜等が豊富にもかかわらず、加工工場がない。生鮮産品は、州外にも運ばれている。

No.	地 域	州	市	町	訓練分野	訓練所サイトの立地条件
34	"	Zamboanga del Norte	Dapitan City		食品加工	ミンダナオ島の東北に位置するダビタン市は農業、漁業が盛んで、食品加工産業に適している地域である。
35	"	Zamboanga del Norte	Liloy		縫製	リロイは、ザンボアンガ州の中心になっており、今も大都市の一つであるので訓練卒業生の就業機会が多い。
36	"	Zamboanga del Norte	Rizal		縫製	北ザンボアンガ州の地方都市である、元々縫製技術の要請があり既に先方政府の資金で訓練所を開設している。
37	"	Zamboanga del Sur	Ipil		縫製	先方政府が地方の要請を受けて既に開設されている訓練所に機材整備を行うもので、その需要は多い。
38	"	Zamboanga del Sur	Pagadian City		縫製	バガディア安市は商業都市化が著しい。生鮮及び乾燥農産物その他がセブ市及びビザンポ安市に集まってくる。衣料産業の実現が望まれている。
39	X	Agusan del Norte	Buruan City		食品加工	空港があり、交通の便の良い地方で活気のある都市である。食品加工技術で魚、果物の販売が可能である。
40	"	Surigao del Norte	Surigao City		縫製	この付近最大の都市で、衣料製品の需要は多い。訓練生のアクセスも十分に訓練効果が高いと見込める。
41	"	Misamis Oriental	Ozamis		縫製	オサミス市は高度に産業化されている。
42	XI	Davao del Norte	Davao City		玩具製作	ダバオ州の政令市で、人口が多く人形、縫いぐるみ等の需要は見込める。
43	"	Davao del Norte	Tagum		縫製	特別な産業もなく、特に婦人の収入源に乏しい地域で婦人が収入を得るに適したものと要請された。
44	"	Davao del Sur	Digos		縫製	特別な産業もなく、特に婦人の収入源に乏しい地域で婦人が収入を得るに適したものと要請された。
45	"	South Cotobato	Koronodal		縫製	特別な産業もなく、特に婦人の収入源に乏しい地域で婦人が収入を得るに適したものと要請された。
46	XII	Maguindanao	Cotabato City		機織り	マグイダナオ地区は、織物の産地で観光客も多く、特に民芸調のものに人気がある。
47	"	North Cotobato	Kidapawan		食品加工	ミンダナオ島の内陸部で農産物を主体に果物を用いた食品加工保存技術で都市に販売を求める。
48	NCR	Metro Manila	Caloocan City		縫製	訓練卒業生は近くに衣料工場がつくられているので、これの就業機会も増加する。
49	"	Metro Manila	Paranaque		縫製	恵まれた土地、バラナック地区は、進歩的で自助の精神に富み、労働意欲が旺盛で活気に満ちた地域である。
50	"	Metro Manila	Valenzuela		縫製	訓練センターは、マニラ市の高・工業地域に位置している。また、大規模級の衣料工場のある地域でもある。工業製品はステレンレス、ジープへの電気メッキ、自動車用バッテリー、サンブラス、ストロー、プラスチック製品等である。

No.	地域	州	市	町	訓練分野	訓練所サイトの立地条件
51	CAR	Abra	Bangued		機織り	手機織りは、この地方の主産業の一つである。涼しい気候とも関連して、織物製品は隣接州や外国からの需要も多い。そのためこの需要に応えられざる技術者や生産者がなくしてはならない。この地域、州全体共近隣地域と再委託契約を行うこともあって、高度の技術をもった技術者が要望されている。また、この州の経済開発は活発であり、将来、商店、小工場のための高度の技術をもつた織製技術者が望まれている。
52	"	Abra	Bucay		縫製	この地方は織物が盛んであるが、これらの生地を使用し生産する縫製技術も重要な技術である。
53	"	Kalinga	Tabuk		縫製	
54	"	Benguet	La Trinidad		機織り	この地方では、かつて織物が主たる産業の一つとなっていた。高齢化した技術者が若い世代への技術の伝達をうまくできなかつたために技術者が減つたものと思われる。
55	NTCL WWD	Metro Manila	Malate		ホームエイド サービス	ホームエイドと介護はメトロマニラでは、どの家庭でも必要とされている。今では、女性が労働力として労働市場に参加し、彼女たちが外出や仕事で家をあける専門家育児担当を受け持つ人を必要とするからである。

3.2.2 プロジェクトサイトの選定検討結果

(1) 実施機関による婦人職業訓練所サイトの選定

社会福祉事業省では、婦人職業訓練所のサイト選定に当たっては5つの基準を定めて行っている。訓練所サイトの選定基準は以下の通りである。

①アクセスのしやすさ

訓練所サイトへ適時に、適切に、定期的に往来できることが訓練生にとっても必要である。また、訓練所への交通の利便が良く、早く容易に移動ができれば、州事務所や本局の技術スタッフによるモニタリングや監理がしやすくなる。また、訓練所の活動に興味を持っている婦人が直接、訓練所に来やすくなる。具体的には、各地方の中心都市で交通の利便が良い場所に訓練所があることが必要条件である。

②社会的に不利な状況におかれている婦人の割合

国家統計委員会（National Commission on Statistics of the Women's Populace）の最新の統計資料によると、インフォーマルセクターや社会的に不利な状況におかれている女性の割合は4割にも及ぶと指摘している。この統計の数値を規準として地方の不利な状況におかれている婦人の存在の程度を判断している。

③地方政府の支援

地方政府の支援はプロジェクトを成功へ導くための重要な要素である。プロジェクトを成功させるために必要な継続的な支援、すなわち建物、電気、水、機材の安全及び訓練所の職員に関する費用について、その負担範囲について社会福祉事業省と地方政府との間で同意覚書を結ぶ予定となっている。その他支援として、例えば、追加資材、ローン資金、交通費補助、手当の支給等があるが、これらは今後、両者間で検討することとなる。

④卒業生に雇用機会があるかどうか

訓練所で技能訓練を受けた婦人達が卒業後に就職できるような中小規模の産業（例えば工場、店など）が、その地域に存在するかどうか。また、自立起業や下請け仕事を望む婦人に対して、

事業開設資金を援助してくれるような地方政府やNGOがその地域に存在するかどうか。そして、地域内ではもちろん国際市場でも人気のあるような製品を製造でき、かつ原材料が豊富で安く入手できる状況にあるかどうかが大変な要件である。

⑤治安

地域の治安状況の安定はプロジェクトの成功を支える一因である。トレーナーや訓練所のスタッフ、訓練生の身の安全も保障されなければならない。訓練生にとって訓練コースを終了まで安全に、そして訓練所での技能トレーニングに打ち込める環境にあることが大切な条件である。

以上の選定基準を用いて当初要請のあった訓練所85サイトについて検討し、選定基準を満足するような良好なサイトを表3.2の通り訓練所適地として選定している。なお、1992年の当初要請では婦人職業訓練所の要請数量は、85ヶ所であったが、基本設計現地調査時に要請訓練所数量が85ヶ所から58ヶ所に減少しているのは、85ヶ所の内いくつかについてはフィリピン国政府の自己資金を用いて機材整備を実施したことも一つの理由であるが、地方政府の支援（例として、婦人職業訓練所として予定していた建物が、時間の経過から他目的にすでに使用されてしまい、適切なサイトがすぐには用意できないこと）等の必要条件が得られなくなったサイトがでてきたことも理由である。

表3.2 婦人職業訓練所の選定検討結果

センター候補地				選定基準					判定	
地域	市	自治体/州	分野	アクセスのし易さ	不利な状況にある婦人の割合	治安	地方政府の支援	卒業生の就職先		
I	LAOAG CITY	ILOCOS NORTE	SC	+	+	+	+	+	選定	
		BATAV, ILOCOS NORTE	SC	+	+	+	-	+		
		DAGUPAN, PANGASINAN	FP	+	+	+	+	+		
		BANGAR, LA UNION	LW	+	+	+	+	+		
		SAN FERNANDO, LA UNION	FP	+	+	+	+	+		
		NARVACAN, ILOCOS SUR	SC	+	+	-	-	+		
		BAUANG, LA UNION	FP	+	+	-	-	+		
		PAGUDGUD, ILOCOS NORTE	FP	+	+	-	-	+		
		CABUGAO, ILOCOS SUR	SC	+	+	+	-	-		
		BURGOS, LA UNION	LW	+	+	-	-	+		
II		BAYOMBONG, NUEVA VISCAYA	FP	+	+	+	+	+	選定	
		BASCO, BATANES	FP	-	+	+	+	-		
		IGUIG, CAGAYAN	SC	+	+	-	-	+		
		APARRI, CAGAYAN	SC	-	+	+	-	-		
		ALCALA, CAGAYAN	FP	+	+	+	-	+		
III	CABANATUAN CITY	NUEVA ECUA	FP	+	+	+	+	+	選定	
		BALANGA, BATAAN	FP	+	+	+	-	-		
		DINALUPIHAN, BATAAN	FP	+	+	+	-	-		
		TARLAC, TARLAC	SC	+	+	+	+	+		
		IBA, ZAMBALES	FP	+	+	+	+	+		
		SAN JOSE DEL MONTE, BULACAN	FP	+	+	+	+	+		
IV	LIPA CITY	BOAC, MARINDUQUE	SC	+	+	+	+	+	選定	
		BATANGAS	SC	+	+	+	-	+		
		S. JOSE MAMBURAO, OCC MINDORO	FP	-	+	+	-	-		
	TAGAYTAY CITY	CALAPAN, OR MINDORO	FP	+	+	+	+	+		選定
		SAN VINCENTE, PALAWAN	SC	+	+	+	-	+		
		ODIONGAN, ROMBLON	SC	+	+	+	+	+		
		CAVITE	FP	+	+	+	+	+		
	LUCENA CITY	STA CRUZ, LAGUNA	SC, FP	+	+	+	+	+		選定
		TANZA, CAVITE	SC	+	+	+	+	+		
		PADRE GARCIA, BATANGAS	SC	+	+	+	+	+		
V		QUEZON	SC	+	+	+	+	+	選定	
		CAINTA, RIZAL	SC	+	+	+	+	+		
		DAET, CAMARINES NORTE	FP	+	-	-	+	-		
		SORSOGON, SORSOGON	LW	+	+	-	-	+		
VI		NABUA, CAMARINES SUR	SC	-	+	-	-	-	選定	
		MASBATE, MASBATE	SC	+	+	-	-	-		
		DARAGA, ALBAY	LW	+	+	-	-	+		
		VIRAC, CATANDUANES	LW	+	+	+	+	+		
		IROSIN, SORSOGON	LW	+	+	+	+	+		
		JORDAN, GUMARAS	SC	+	+	+	+	+		
		SAN JOSE, ANTIQUE	SC	+	+	+	+	+		
ROXAS CITY	KALIBO AKLAN	SC	+	+	+	-	+	選定		
	CAPIZ	SC	+	+	-	-	+			
	ESTANCIA ILOILO	FP	+	+	+	-	+			
VII	DUMAGUETE CITY	NEGROS OCCIDENTAL	FP	+	+	+	-	+	選定	
		MANDAUE CITY	TC	+	+	+	+	+		
	CEBU CITY	CEBU	FP	+	+	+	-	-		
		LAZI, SIQUIJOR	FP	+	+	+	-	-		
	TAGBILARAN CITY	BOHOL	FP	+	+	+	+	+		
	BAIS CITY	NEGROS ORIENTAL	FP	+	+	+	+	+		
		KANLAON, NEGROS ORIENTAL	FP	+	+	+	+	+		

注) FP=食品加工 SC=縫製
LW=機織り HA=ホームエイドサービス
TC=玩具

センター候補地				選定基準					判 定
地域	市	自治体州	分野	アクセス のし易さ	不利な状況 にある婦人の 割合	治安	地方政府 の支援	卒業生の 就職先	
VIII	ORMOC CITY TACLOBAN CITY	EASTERN SAMAR	FP	+	+	+	+	-	選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定
		LEYTE	SC	+	+	+	+	+	
		LEYTE	SC	+	+	+	+	+	
		CATARMAN, NORTHERN SAMAR	FP, SC	+	+	+	+	+	
		SAN ISIDRO, NORTHERN SAMAR	FP	+	+	-	-	+	
		BASEY, WESTERN SAMAR	SC	-	+	-	-	+	
		MAASIN, SOUTHERN LEYTE	FP	+	+	+	+	+	
IX	DIPLOG CITY PAGADIAN CITY	ZAMBOANGA DEL NORTE	FP	+	+	+	-	+	選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定
		ZAMBOANGA DEL SUR	SC	+	+	+	+	+	
	RIZAL, ZAMBOANGA DEL NORTE	SC	+	+	+	+	+		
	IPIL, ZAMBOANGA DEL SUR	SC	+	+	+	+	+		
	DAPITAN CITY	ZAMBOANGA DEL NORTE	FP	+	+	+	+	+	
		SILAY, ZAMBOANGA DEL NORTE	SC	+	+	+	-	+	
	ZAMBOANGA CITY	ZAMBOANGA DEL SUR	SC	+	+	+	-	+	
		LILOY, ZAMBOANGA DEL NORTE	SC	+	+	+	+	+	
ISABELA, BASILAN		FP	+	+	+	+	+		
X	OZAMIS CITY BUTUAN CITY	AGUSAN DEL SUR	FP	+	+	+	-	-	選定 選定 選定 選定 選定 選定
		MALAYBALAY, BUKIDNON	FP	+	+	+	-	+	
		MISAMIS OCCIDENTAL	SC	+	+	+	+	+	
		AGUSAN DEL NORTE	FP	+	+	+	+	+	
		CAMIGUN	FP	+	+	+	-	-	
		MISAMIS OCCIDENTAL	SC	+	+	+	+	-	
OROQUETA CITY SURIGAO CITY	SURIGAO DEL NORTE	SC	+	+	+	+	+		
	SURIGAO DEL NORTE	SC	+	+	+	+	+		
XI	DAVAO CITY	CORONADAL, SOUTH COTOBATO	SC	+	+	+	+	+	選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定
		POLOMOLOK, SOUTH COTOBATO	SC	+	+	+	+	-	
		DAVAO DEL SUR	TC	+	+	+	+	+	
		SAN ISIDRO, DAVAO ORIENTAL	FP	-	+	+	-	-	
		DIGOS, DAVAO DEL SUR	SC	+	+	+	+	+	
		TAGUM, DAVAO DEL NORTE	SC	+	+	+	+	+	
		MABINI, DAVAO	SC	+	+	+	-	+	
XII	COTOBATO CITY	KIDAPAWAN, NORTH COTOBATO	FP	+	+	+	+	+	選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定
		MIDSAYAP, NORTH COTOBATO	FP	+	+	-	-	+	
		MARAWI, LANA DEL SUR	LW	+	+	-	-	+	
		MAGUINDANAO	LW	+	+	+	+	+	
		ESPERANZA, SULTAN KUDARAT	SC	+	+	-	-	+	
		PIKIT, NORTH COTOBATO	SC	+	+	-	-	-	
		BALABAGAN, LANA DEL SUR	SC	+	+	-	-	+	
NCR		PARANAQUE	SC	+	+	+	+	+	選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定 選定
		VALENZUELA	SC	+	+	+	+	+	
		SAN JUAN	SC	+	+	+	-	+	
		CALOOCAN	SC	+	+	+	+	+	
		TAGUIG	SC	+	+	+	-	+	
		MANDALUYONG	SC	+	+	+	-	+	
		MALABON	FP	+	+	+	-	+	
CAR		BUCAY, ABRA	SC	+	+	+	+	+	選定 選定 選定 選定 選定
		BANGUET, ABRA	LW	+	+	+	+	+	
		TABUK, KALINGA APAYAO	SC	+	+	+	+	+	
		IFUGAO	SC	+	+	-	-	+	
		LA TRINIDAD, BENGUET	LW	+	+	+	+	+	
NTCLWWD		NATIONAL TRAINING CENTER AND LABORATORY, METRO MANILA	HA	+	+	+	+	+	選定

注) FP-食品加工 SC-縫製
LW-機械り HA-ホームエイドサービス
TC-玩具

(2) プロジェクトサイトの検討結果

要請されている訓練所サイトについては、既に訓練所としての建物・部屋があるかどうか、機材配置等に準備可能な確証があること、訓練生が訓練所に通うにアクセスが良いこと、社会的に不利な状況におかれている婦人の割合が多いこと、施設の管理、維持に地方政府の支援が得られること、訓練卒業生の雇用機会があること、治安が良いこと等を基準として各訓練サイトの選定協議をおこないミニッツ署名時点で59ヶ所の要請となった。

その後、調査団による現地調査及び質問状による調査を実施した結果、先方政府から次のような要請変更が出された。

- ① 訓練分野の変更、第2地域のカバロキス (Cabarroquis) と第12地域のマラウイ (Marawi) は施設の関係で、同じ地域 (行政区) 内で、バヤンボン (Bayombong) とコタバト (Cotabato) へ変更要請された、これら施設の収容面積等の検討をおこない妥当と判断した。
- ② 訓練サイトの追加要請、第4地域のリザルカインタ (Rizal Cainta) に訓練サイトの追加要請が出された。現地調査した結果、施設の受け入れ準備は完了し、訓練生の需要も見込まれ妥当と判断した。
- ③ 取り下げ要請、第12地域のコタバト (Cotabato)、NCR地域のサンジュアン (San Juan) の2ヶ所の訓練サイトは施設が上記選定基準に満たないとして先方政府から取り下げられた。

2ヶ所の訓練サイトが分野の変更、1ヶ所が追加となり、2ヶ所の訓練サイトが取り下げられ検討した結果は合計58ヶ所となった。

帰国後先方政府から次のような要請がなされたが、検討した結果は以下の通りである。

- ① 同じ第10地域 (CARAGA) 内でスリガオ (Surigao) を食品加工分野で生鮮食料の調達に困難があるとの理由で縫製分野に変更、縫製分野を予定していたバツアン (Butuan) を生鮮食料の調達が容易の理由で縫製から食品加工分野に変更要請があった。特に食品加工訓練所は卒業後の進路について、原材料の調達は重要な問題であること、スリガオ (Surigao) の地区は衣料産業があり就職機会多い地区であることから変更要請は妥当なものと判断した。
- ② 第4地域のサンホセ (San Jose) に縫製の追加要請がなされた。サンホセはミンドロ島に位置し第二次計画で特に魚を主体に食品加工分野の訓練コースを計画しようというものであるが、ミンドロ島カラパン (Calapan) は現地調査の際には要請がなく、帰国後に要請がされたので現地確認が出来なかったため計画から外すこととした。

3.2.3 訓練分野の検討結果

当初要請（1992年）では、13訓練分野で85ヶ所の訓練所への要請であったが、時間の経過からミニッツ署名時には5分野の要請に絞り込まれてきた。

調査団は先方政府の要請内容を確認すると共に、各要請分野と各訓練所の施設状況の調査を行った。

協力対象とする訓練コースは、女性の雇用に結びつくか各地域の社会条件に留意し、縫製、食品加工、玩具製作、ホームエイドサービス、機織りの5分野となった。このうち縫製、食品加工、玩具製作の3分野は既存の訓練分野であり、第一次計画の実績で原材料調達に地域性がなく、大変良い訓練実績を上げており、かつまた高い率で就業機会が得られている。従って、この分野へ機材整備を行うことには高い意義があると考えられる。

新たなコースとして、ホームエイドサービスと機織りの各分野がある。ホームエイドサービスについては、女性に家事・育児及び適切な家事に対する技能をより向上させる事により、彼女達のホームタウンでプロフェッショナルなホームエイダー又は保育者としての仕事を得ることを目的とする。特に都市部から海外流出する出稼ぎ者防止に大きく貢献すると考えられる。これまで経済発展してきた各国の事例からして、経済発展が続けば、今後ホテル・レストラン分野の雇用需要が増加し、これらホームエイドサービスの就業の機会が大きいことが見込める。このため都市部であるマニラ市とセブ市を訓練所サイトを計画とすることは、適切であると考えられる。

機織りについては、伝統的な機織りの盛んな地方に機織りコースを整備することで機織り職人を育成し収入を得る機会の増大を計ることが可能となる。この為には単なる機織り物の増産計画として自動織機を導入するのではなく、製品の付加価値を高める意味で手織りの伝統的な風合いが保てるように手動機織り機の整備を行うものである。一般の機織り工場では、織り手の生産能力が重要でこれを評価して雇用することが普通であり、技術を身につけていない人を雇用することは少ない。これは、織り手の育成には機織り機等の余力設備と熟練指導者が必要で、これらを準備することは小規模工場では負担が重過ぎるという理由がある。このため、初心者に対して技能・技術を指導し、習得させる訓練コースが必要とされている。

以上の通りいずれの分野も地域のニーズに見合っていることから妥当と判断された

3.2.4 訓練コースのカリキュラムと必要機材の検討

現在、職業訓練を実施中のコースである縫製、食品加工、玩具製作については、既存のカリキュラムを基本にカリキュラムから必要とされる機材について社会福祉事業省と協議・検討した。また、新規の訓練コースであるホームエイドサービスと機織りについては、カリキュラム案を協議、検討し概定した。その結果に基づき必要機材の計画を行った。

表3.3 訓練コースのカリキュラムと機材使用計画

訓練コース名： 縫製（半日講座）

訓練生： 25名

トレーナー数： 1名

日程	履修時間	内容/課題	方法	機材使用計画（主なもの）
1日目	4時間	- 訓練生に対して本プロジェクトのオリエンテーションを行う	講義/討論	
2日目	4時間	- トレーニングテスト		足踏み式本縫ミシン(20) 電動高速本縫直線ミシン(20)
3日目	2時間 2時間	- 簡単な紹介 - 訓練所の規則	自己紹介 講義/討論	
4日目	2時間 2時間	- 設備の取り扱い方 a. 裁縫用具、補給品、付属品等に慣れる	討論/デモンストレーション/設備の操作	洋裁道具セット(25) 定規セット(25)
5日目	4時間	b. 簡単なトラブルに対応できるようミシンの各部と機能について学ぶ - ミシンに糸を通す - 糸巻をはめ込む	討論/デモンストレーション/ミシンの操作	足踏み式本縫ミシン(20) 電動高速本縫ミシン(20) ボタン穴かがりミシン(2) ボタン付けミシン(2) 縁かがりミシン(3)
6・7日目	8時間	c. 足踏み式本縫ミシンと電動高速本縫直線ミシンの操作	講義/デモンストレーション/実習	足踏み式本縫ミシン(20) 電動高速本縫ミシン(5)
8日目	4時間	d. 前掛けの製作	デモンストレーション/実習	足踏み式本縫ミシン(15) 電動高速本縫ミシン(10)
9日目	4時間	e. 各種の縫い合わせ方を学ぶ - 直線縫い合わせ - フレンチ縫い合わせ - 重ね縫い合わせ - 伏せ縫い合わせ（直線）	講義/デモンストレーション/実習	足踏み式本縫ミシン(15) 電動高速本縫ミシン(10)
9・10日目	4時間	- 採寸	講義/実習	定規セット(25)
10日目	2時間	- 型紙の製作 a. スカートとブラウスの型紙を製作 b. 基本の練習 1) 直線縫い 2) 直線縫い 3) 角縫い 4) 曲線縫い 5) 鋭角縫い 6) 反転角縫い 7) 反転曲線縫い 8) 反転鋭角縫い 9) 裂け目用チェーン縁縫い	講義/デモンストレーション/実習 デモンストレーション/実習	洋裁道具セット(25)、定規セット(25) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20)
11~13日目	12時間	- ボタン穴かがりミシン、ボタン付けミシン、オーバーロックミシンの操作	講義/デモンストレーション/実習	ボタン穴かがりミシン(2) ボタン付けミシン(2) 縁かがりミシン(3)

日程	履修時間	内容/課題	方法	機材使用計画(主なもの)
14~26日目	52時間	<p>訓練に関連した請負作業/型紙の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> - ボロ、Tシャツ、半ズボンの型紙製作 - パッチポケット - スライドポケット - 縁飾り(シングル) - 縁飾り(ダブル) - スリットのわきあき - エグゼクティブ・カラー - ファスナーの取り付け a. 女性用ファスナー(スカート) b. 男性用ファスナー(ズボン) - スカートの隠しポケット(女性) - ズボンの隠しポケット(男性) 	講義/デモンストラクション/実習	足踏み式&電動高速本縫ミシン(各20) 縁かがりミシン(3)
27・28日目	8時間	- 各種縫い合わせ試験と請負仕事による実地試験	実習	全機材
29日目	4時間	- 筆記試験		
30日目	4時間	- 各種ミシンの操作試験(実地試験)		全機材
合計	120時間			

表3.3 訓練コースのカリキュラムと機材使用計画

訓練コース名： 食品加工（全日講座）

訓練生： 20名

トレーナー数： 1名

日程	総修時間	内容/課題	方法	機材使用計画（主なもの）
1日目	1時間	- 訓練生に対して本訓練コースのオリエンテーションを行う	討議	全機材 全機材 肉詰め器、ミートカッター、蒸製箱、粉砕器、フードカッター、ミートスライサー、オープン
	半時間	- 訓練所の規則や訓練方法等の説明	討論	
	半時間	- トレーニングテスト		
	1時間	- 簡単な自己紹介	自己紹介	
	1時間	- 各種調理器具に慣れる	図解/デモンストレーション/講座/討論	
	1時間	- 各種調理機器の操作と簡単な修理方法を学ぶ	講義/討論/デモンストレーション	
	1時間	- 食料品の質の見分け方と扱い方	講義/討論/デモンストレーション (市場において)	
	1時間	- 食料品が腐ったり、質が低下したりする原因	講義/討論	
	1時間	- 人体に影響を及ぼす食料品に含まれている添加物や化学薬品 体に必要な栄養食品	講義	
2日目	1時間	- 食料品の保存の重要性 食料品の貯蔵 - 冷凍 - 冷蔵	講義/討論/デモンストレーション	冷蔵庫 肉詰め器、ミートスライサー、挽き肉器、肉叩き器、肉用温度計 圧力釜、圧力殺菌釜、ガスオープン、蒸製箱 上皿自動天秤 自動真空包装機
	4時間	- 食料品保存の各種方法 肉のカット 肉の加工 1) ハム 2) コンビーフ 3) ベーコン 4) ロンガニザ 5) トシノ	講義/討論 講義/討論 デモンストレーション 訓練生によるデモンストレーション	
	2時間	- 魚の蒸製	講義/討論/デモンストレーション 訓練生によるデモンストレーション	
	1時間	- 最終製品の原価計算と価格付け	講義	
	1時間	- パッキング		
	3日目	4時間	- 魚の瓶詰め	
2時間	- 塩漬け/乾燥		移動式ソーラー乾燥機	
2時間	- 包装した最終製品の原価計算と価格付け	講義/討論	上皿自動天秤、自動真空包装機	
4日目	2時間	- フルーツジュースのペースト、濃縮、シロップ	講義/討論/デモンストレーション/訓練生のデモンストレーション	搾汁器、ミキサー
	2時間	- フルーツ/野菜のパッキング		フードカッター、塩分計、上皿自動天秤
	1時間	- フルーツ/野菜を使った最終製品の包装と価格付け		
	1時間	-ゼリー/ママレード		フードカッター、果肉採取機 ゼリー強度測定器、ハンドレフ ラトメーター
	1時間	- ジャムや乾燥フルーツ		粉砕器、フードカッター、果肉採取機
5日目	8時間	- 包装した最終製品の原価計算と価格付け	講義/討論/デモンストレーション 訓練生によるデモンストレーション	上皿自動天秤
5日目	8時間	- 澱粉製品の製造過程と包装、原価計算、価格付け	講義/討論/デモンストレーション 訓練生によるデモンストレーション	粉砕器、移動式ソーラー乾燥機 上皿自動天秤、製麺機
6日目	8時間	- 訓練生によるデモンストレーション		
7日目	8時間	- 基本的なビジネスのマネージメントについて	講義	
合計	57時間			

表3.3 訓練コースのカリキュラムと機材使用計画

訓練コース名： 玩具製作（全日講座）

訓練生： 20名

トレーナー数： 1名

日程	総修時間	内容/課題	方法	機材使用計画
1日目	1時間 1時間 1時間 1時間 4時間	訓練生に対して本プロジェクトの オリエンテーションを行う 訓練所の規則 簡単な自己紹介 足踏み&稼かがりミシンや その他玩具製作に使用する設備、 道具、付属品に慣れる 足踏み&稼かがりミシンの 操作や修理のオリエンテーション 補給品/資材に慣れる、陰/色彩 のコンビネーション、織物の構造 とデザイン パターンについて -織物のレイアウトと裁断 -縫い	講義/討論 講義/討論 自己紹介 講義/討論 講義/討論/デモ ンストレーション 講義/討論 デモンストレーシ ョン/実習生によ るデモンストレー ション	全機材 全機材 全機材 全機材
2日目	8時間	付属品の取り付け (例えば目、鼻等のパーツ) 詰め物 仕上げ サル形をしたナップサックまた はそれに類似したものの製作	デモンストレーシ ョン/実習	全機材 全機材
3-4日目	16時間	トレーシングパターン 織物のレイアウトと裁断 縫い 付属品の取り付け 詰め物 仕上げ 製作項目 a. ジェニファー人形 b. 兎 c. 子犬 d. コアラ e. むく毛のライオン f. バンダ	デモンストレーシ ョン/実習	全機材
5日目	8時間	トレーシングパターン 縫い 付属品の取り付け 詰め物 仕上げ 製作項目 a. 小鳥 b. かあさん小鳥 c. アヒル d. テディベア	デモンストレーシ ョン/実習	全機材
6-7日目	16時間	トレーシングパターン 織物のレイアウトと裁断 縫い 付属品の取り付け 詰め物 仕上げ 製作項目 a. 子犬 b. サル c. もじゃもじゃ毛の人形 残り布の利用。例えば、ボール、 針刺し、ヘッドバンド	デモンストレーシ ョン/実習 講義/討論	全機材
8日目	8時間	基本的なビジネスのマネーメン トについて	講義	
合計	64時間			

表3.3 訓練コースのカリキュラムと機材使用計画

講座名: ホームエイドサービス (全日講座)

訓練生: 20名

トレーナー数:

1名

日程	履修時間	内容/課題	方法	機材使用計画
1日目	4時間	1. 訓練生に対する オリエンテーション 2. 講座の目的 内容とスケジュール 方法と評価体系 3. ホームエイドサービスの概略 ホームエイドサービスの定義 ホームエイドサービスプログラム ホームエイドサービスの目的 訓練生の期待	講義/討論 組織学習 実習室 デモンストレーション	黒板あるいはホワイトボード 椅子、机
2日目 から 4日目	22時間	モジュール1 働き手の性格、価値及び態度 ○ 各々のホームエイダー概念 ○ チームの中のホームエイダー ○ 責任ある働き手としての ホームエイダー	組織的学習実習 実習室 チーム構成活動	黒板あるいはホワイトボード 椅子、机
5日目 から 10日目	49時間	モジュール2 健康と安全 ○ ホームエイダーの役割 ○ 時間管理の実際 ○ 基本活動計画原則と技術 ○ 家事活動 ○ メニュー計画と調理 ○ 食事の準備とテーブル セッティング ○ 洗濯、アイロン ○ 家内外の園芸活動 ○ 家内外の清掃活動 ○ 家庭衛生と伝染病抑制 ○ 家庭用品、家具及び道具の使用 と維持	デモンストレーション デモンストレーション/ 訓練生のデモンストレー ション デモンストレーション/ 訓練生のデモンストレー ション デモンストレーション/ 訓練生のデモンストレー ション 講義、デモンストレー ション、訓練生のデモン ストレーション デモンストレーション/ 訓練生のデモンストレー ション	黒板あるいはホワイトボード 椅子、机 デモンストレーションテーブル 流し台、調理レンジ、冷蔵庫、 長テーブル (10人掛け、椅子付き) 計量カップ、計量スプーン 料理包丁、皮むき器、おろし器 骨切り包丁、こし器、すり鉢・ すりこぎ、お盆、木製スプーン 玉杓子、ゴム製ヘラ、小麦粉用ふるい ザル、フライ返し、料理バサミ ナベ、蒸し器、蓋付きフライパン、皿 食器用缶、缶切り、肉叩き 調理バサミ、ボールセット、茶こし パイ皿セット、ケーキ型枠セット、 角形パン、角パッド、深鍋、 マフィン用型枠、アイスボックス クッキー型、カスタードカップセット ブレンダー、コーヒーメーカー 高圧ナベ、電動ミキサー、電動 泡立て器、めん棒、調理用タイマー こし器、栓抜き、食器一式、 バーベキューセット、ラック、ヤカン 簡易浄水器、オープン電子レンジ、 洗濯機、アイロン、アイロン台、 物干し綱、 植木鉢、ゴムヘラ、スポンジ、バケツ 移植ごて、カッター、噴霧器、手袋 カーペット掃除機、掃除機、床磨き器 モップ、バケツ、手袋、トイレブラシ 噴霧器、手袋、殺虫剤、ゴミ袋、洗剤 用具缶 手袋、消火器、調理レンジ、冷蔵庫 換気扇、ソファ、机と椅子、サイド テーブル、高圧ナベ、ブレンダー パコレーター、洗濯機、掃除機 床磨き器、インターコム、 オープン電子レンジ、簡易浄水器 トースター、電熱器、ベッド、鏡

日程	履修時間	内容/課題	方法	機材使用計画
11日目 から 15日目	43時間	モジュール3 子供の世話 ○ 子供の世話係りの規則と個人的資質 ○ 子供の成長特性、要求及び行動 ○ 遊びと子供の成長 ○ 子供の練習 ○ 基本的子供の世話	講義/討論 講義、デモンストレーション、訓練生のデモンストレーション 講義、デモンストレーション、訓練生のデモンストレーション	黒板あるいはホワイトボード ベビーベッド、ベビーカー 玩具、遊技場 ベビー用入浴設備、哺乳ビン、毛布枕、楽器（オルガン）、おじゃぶり
16日目 から 20日目	32時間	モジュール4 家事と栄養 ○ 子供の健康と栄養 ○ 応急手当 ○ 家庭での基本的看護 ○ 家庭での危険と他の危険の実際 ○ 応用技術	講義、デモンストレーション、訓練生のデモンストレーション 講義/デモンストレーション 講義/デモンストレーション 講義、デモンストレーション、訓練生のデモンストレーション	哺乳ビン、体温計、蒸し器 緊急医療キット、薬 消火器
合計	150時間			

表3.3 訓練コースのカリキュラムと機材使用計画

講座名： 機織り（全日講座）

訓練生： 20名

トレーナー数： 1名

日程	履修時間	内容/課題	方法	機材使用計画
1日目	4時間	訓練生に対する オリエンテーション	講義/討論	
	4時間	機織りの原材料 1. 繊維の分類 2. 繊維の特徴	講義/デモンストレーション 実習室	
2日目	4時間	機織り原材料の続き 1. 機織りの糸 2. 糸以外の材料	講義/デモンストレーション 回覧	縦糸張りフレーム 糸巻き
	4時間	原材料の必要量 1. 現在量必要用計算 2. 簡易コスト会計	討論	
3日目	8時間	機織り操作前及び後 1. 原材料準備 縦糸張り工程		縦糸張りフレーム おさの目 あや取り器 籽
4日目	8時間	2. 機織り仕上げ 2.1 機織り入門 2.2 糸巻き 2.3 図柄 2.4 試行	デモンストレーション	機織り機 おさの目 籽 あや取り器
5日目 から 9日目	40時間	正しい機織り - 機織りの正しい制御 - 業品処理 - アバカ繊維検査 のための品質	デモンストレーション	機織り機 籽 ロータリープレス マシン 縫製用具 ハサミ
10日目	8時間	基本的取引経営 技術開発セミナー - 生産管理 - 販売管理 - 予算管理 - 簿記と記録	講義 デモンストレーション	椅子 机 ホワイトボード
合計	80時間			

3.2.5 計画の枠組み、最適案の検討

機材内容・数量について、縫製、玩具製作、食品加工の各訓練コースは、第一次計画で実施中のコースであり、現在使用している訓練カリキュラムから必要性の検討を行った。カリキュラムの内容、機材の使用計画、訓練期間、生徒数等から検討した結果、機材内容の一部を変更をしたが、基本的には要請機材内容は妥当と判断された。

新分野の訓練コースであるホームエイドサービス、機織りについては新規のカリキュラム案の内容、訓練計画、生徒数から要請内容を検討した。

各分野の訓練コース概要と主要機材の内容について以下に述べるが、詳細については表3.3の訓練コースのカリキュラムと機材使用計画に、計画機材数量については、表3.4のミニッツ時要請数量と計画数量比較表に記載する。

(1) 縫製コース

①-A 新規計画訓練所

縫製の職業訓練は半日講座の場合、30日間が1コースとなっている。本訓練は原材料の調達に地域性はなく、どの地域においても受講希望の多い分野である。第一次計画の実績で訓練修了生の就業率が85%（社会福祉事業省 記録）の高率を示している。訓練内容は、子供服、婦人服とワイシャツ等を製作可能な技術を修得し、訓練終了後は工場に雇用を求めるか、自立起業を始め収入を得る事が目的である。

機材内容は、電動ミシン、足踏みミシン各20台他を整備し、生徒数25名を対象に訓練を行う。足踏みミシンは初歩段階で使用し、馴れてきたら電動ミシンで訓練するという順序で訓練する。生徒数から考えると25台必要なところであるが過去の訓練経験から、なかには最初から電動ミシンを扱うことができる女性もいるので、20台が適正台数とした。

①-B 一部整備済み訓練所

フィリピン政府が地域の訓練要請に応じて、自己資金を用いて縫製訓練所を開設したが、機種と台数が限られていることから、必要とされる技能を身につけるには不十分な状態にある。このような訓練所の訓練機材内容適正化のため縫製訓練用機材の要請がなされたものである。要請内容については、訓練の需要がありまた施設も充分であり本要請は妥当なものと判断した。

訓練内容及び機材のグレードは、縫製コースの新規訓練所と同様であるが、機材の数量について訓練生の数を新規訓練所と同様に25人と計画し、既に整備されている機材数を差し引いた数量

を計画数量とした。

①-C 第一次計画で縫製機材を整備した訓練所への追加機材

第一次計画で開設された訓練所への追加機材として各訓練所に次の機材の要請がなされた。

ギャザーミシン（別名；ダブルチェーンステッチミシン）1台、ジグザグミシン2台、5本糸かがりミシン1台、計3種類、4台。

これらは、シャツの袖口、ズボンのベルト通し、洋服のかがり始末、縁かざり等に使用する機材である。第一次計画では、縫製の基本的な基礎訓練を主眼とした機材整備を行ったが、訓練が進むにつれ、雇用面で有利にするためにも多少高度な技術が要求されるようになった。そこで、カリキュラムを見直し、本第二次計画で要請している機材と同じ機材を整備し、必要とされる技能レベルに応じた訓練を計画していることから、本要請は妥当なもの判断した。

(2) 食品加工コース

生徒数20名を対象に、これを5グループに分け訓練を行う。訓練内容は、肉、魚、野菜、果物を主材料とし、食品加工と食品保存技術を修得する。ハムソーセージ、薫製品、ジュース及び果物キャンディ等の製造技術を身につける。本訓練は食料を扱うので生鮮食料及び野菜、果物等の原材料が容易に入手可能な地域が望ましい。また訓練所卒業後の就業機会が多くあることを望ましい。第一次計画の訓練訓練所での就業率は85%と高い率を示している。

機材の数量は、大型機材以外は教師用と生徒用で合わせて6組(教師が1組使用しながら手本を見せ、各グループが各1組を使用する)、又は2組(教師が1組を使用し生徒全体で1組を使用する)を基本に整備する計画とした。

(3) 玩具製作コース

足踏みミシン20台他を整備し、生徒数20名を対象に全日講座で8日間を予定し訓練を行う。このコースでは主として縫いぐるみ又は人形をデザインし製作する技術を修得する。第一次計画の実績の本計画の卒業生の就業率は80%、その他、輸出用布人形の製作実績もある。

この訓練コースは細かな縫い作業が多く、各訓練生が足踏みミシンを使用しながら洋裁道具を用いて手縫い作業して作品の製作を行う、時に縁かがりミシンで装飾をつける。

機材の数量は、これらのカリキュラムからミシン、洋裁道具及び定規類は20セットとし、縁かがりミシン1台、アイロンは2セット整備する計画とした。

(4) ホームエイドサービスコース

ホームエイドサービスの訓練コースは、生徒数20名を対象に全日制で20日間の日程で訓練を行う。訓練内容は、4つのモジュールに別れ、モジュール1は、家事全般を通し働き手の生活態度。モジュール2は、洗濯、清掃、ベッドメイキング等を通し衛生と安全。モジュール3は、家事と栄養、食事のマナー。モジュール4は、育児及び子供の世話、に分類され、訓練終了後は家庭電器製品の取り扱い等を含め、ホテル、レストラン等への雇用を目指すものである。

家庭電器製品及び家具調度品、調理器具、育児用具(乳母車、ベビーベッド等)、消化器、救急用品等でこれらを用いて訓練を行う。

機材の数量は、訓練はトレーナーが実物操作をして訓練生が繰り返し訓練するか、見て覚えるかによって1ないし2となっている。

(5) 機織りコース

機織りの訓練コースは、18世紀以前から培われてきた伝統工芸である機織りの技術を維持・発展させるため機織り製品の産地となっている地方に開設するものである。使用機織りはバイナップル、麻の一種でアバカを含む綿、人相である。訓練生は、1コース10日間、20人の生徒を対象に手動機織り機を使って、5種類のデザインの織物を織る機会を得ることになる。

機材数量は、10台で2人で1台の機織り機が割り当てられる。フィリピン織物研究所が実施しているトレーナー訓練コースの訓練生数、それに同研究所の専門家からの助言により、1人のトレーナーが1度に訓練可能な訓練生数を割り出し、訓練生の数と機織り機の数量を決定したものであり、妥当と言える。

また、機織り用機材ではカウンターバランスタイプとジャックタイプの2種類の手動機織り機が要請されていた。これは、フィリピン国の地方によって使用している機織り機の種類が異なるため2種類の要請があったもので、これを各地方にふさわしいように、ある地方にはカウンターバランスタイプ、またある地方にはジャックタイプというふうに2パッケージに区別した。このとき、ジャックタイプを使用する地方で用いている織物用材料の関係から、ロータリープレス機と染料がジャックタイプのパッケージに含まれている。(カウンターバランスタイプには、ロータリープレス機と染料は含まれていない)

(6) 事務所用機材

事務所用機材としてコピー機、タイプライター、スライドプロジェクター、オーバーヘッドプロジェクター、カメラが計画されている。それぞれの機材の使用目的は以下の通りであり、計画に

含めることは妥当であると考えられる。しかし、パーソナルコンピュータ、撮影・映写機セット、ファックス、車輻等については、(f)項その他の機材として検討する通りである。

a) コピー機

既存の報告書や、各種書類のオリジナル版をコピーするため、また、チラシ、カリキュラム、トレーニング用資料のコピーにも使用する。

各訓練生には、トレーニング用資料のコピー一式が渡され、課程終了後には仕事をする時のガイドや参考となるよう家へ持って帰ることができることになっている。

訓練生が、トレーニング用資料のコピーを使用することでより容易に学び、理解することが出来る。また、トレーナーから訓練生へのスムーズな技術移転を図るために有効な機材である。

b) タイプライター (電動式タイプライターおよび手動式リボンタイプライター)

各訓練所では、月報、四半期毎の報告書、年報告書を提出しなければならない。その他、政府機関だけでなく、NGOその他の機関に対し、プロジェクト報告書を配布する場合にも必要である。

就職先を求めている卒業生に対する求人案内状や地方行政機関に対して婦人職業訓練所の訓練生や卒業した婦人のフォロー状況報告を作成するために必要である。また、プロジェクトの進行状況を記録するのにも使われる。

電動式タイプライターは、ロングサイズの紙にタイプするのに適している。例えば、チャート、その他情報をタイプするために必要な長さ30~35cmの紙などである。一方、手動式タイプライターは、幅18cmの紙に概略説明レポートをタイプするのに適している。

c) スライドプロジェクター

スライドプロジェクターは、各訓練コースの研修手順や訓練段階等について協議をスムーズにするのに必要である。それは、縫製、食品加工、機織り、玩具製作、ホームエイドサービス等の各訓練コースにかかわる新技術や技法を視覚的に説明・デモンストレーションする時にきわめて有効である。スライドを使って、求められている技能を具体的に説明することができるので、そのコンセプトやアイデアを簡単に理解することができる。

d) オーバーヘッドプロジェクター

オーバーヘッドプロジェクターは、訓練生に対する技術移転に有効である。例えば実例としての工法を説明する時に用いれば、訓練生は容易に理解することができる。同様に訓練生の技能向上やプロジェクト運営の手助けとなる新しいデータを教えるときに利用できる。

(e) フラッシュ付きカメラ

カメラは訓練用のテキスト・資料作りに必要である。成果品を写真で示した資料は、州政府、中央政府、NGO、その他政府機関に提出されることになる。

この写真入り資料は、プロジェクトの運営に関するインフォメーションとして役立ち、プロジェクトのよりいっそうの推進、そして技能トレーニング向上のため役立つ。

(f) その他の機材

フィリピン国政府の要請の中には、事務所用機材としてパーソナルコンピュータ、撮影・映写機セット、ワゴン車（いずれも、マニラの本局向け）とファクス機（全国14ヶ所の社会福祉事業省地域事務所向け）が含まれていた。

本プロジェクトの目的は、婦人職業訓練所の機材整備を行うことにより、労働意欲がありながら雇用の機会に恵まれない都市及び地方の貧困ラインを下回っている家庭に属する婦人の現状を解決するため、婦人のさらなる職業訓練の強化、拡大を通じて雇用の機会の創出を図り収入を得る道を開くことにある。つまり、調達される機材は、直接婦人職業訓練の強化、拡大につながるものでなければならないと基本調査団は判断している。

他方、社会福祉事業省社会福祉局および地域事務所向け機材の調達目的は、社会福祉局のデータ処理能力の向上、各訓練所の巡回モニタリング実施、社会福祉事業省のスタッフやトレーナーへの教育、社会福祉事業省の事務所間の通信状況改善、等が目的であると実施機関から説明されている。しかし、これら機材は社会福祉事業省の管理部門の強化を図るためのもので、職業訓練という目的から見ると二次的なものであり、直接訓練に寄与するものではない。直接的な機材調達を優先し、二次的なものは今回の調達から除外するという基本設計調査団の判断により、本プロジェクトの対象には含めないことにした。

(7) 規模や仕様についての根拠

訓練の規模としては、一回の訓練人数が多い方が訓練効率は高くなるが指導教師の指導範囲が

広がりすぎると指導力の低下に繋がる、1コース20名から25名程度が指導教師の目も届き訓練効率が高いと言われている。現地調査の結果も1コース25名前後で行われて良い結果を得ていることから訓練規模として、縫製25名、食品加工20名、玩具製作20名、ホームエイドサービス20名、機織り20名は適正な生徒数と考えられる。

機材の仕様については、第一次計画で品質的に確実かつ耐久性の高い機材が整備されたことにより、初心者の繰り返し使用にも耐え、故障が少ないことが訓練コースのスムーズな進行に大きく役立っている実績を考慮し、且つ、下記の基本条件を基に機材の仕様を決めることとする。

- a) 現在の婦人職業訓練所の訓練カリキュラムに合致していること。
- b) 職業訓練用機材であるので堅牢であること。
- c) 先方政府資金で一部機材整備を実施した訓練所においては、既存所有機材との整合性があること。
- d) 維持管理が容易な機材であること。
- e) 公害を発生させない機材であること。

(8) 機材のパッケージ分け

計画対象とする訓練所のヶ所数が多く、訓練分野も5分野にわたる。一方、訓練カリキュラムに沿った機材整備が必要で、訓練レベルの統一性を図るために、同一分野に同一機材及び同一数量を仕分けするために、パッケージ分けを計画した。

パッケージ分けは、縫製用機材をパッケージ1とするが、新規計画訓練所用は、パッケージ1A、既に先方政府により部分的に機材整備された訓練所に機材整備するパッケージは、パッケージ1B、第一次計画で整備した訓練所で追加機材を整備する訓練所用はパッケージ1Cと分類した。

食品加工機材をパッケージ2、玩具製作用機材をパッケージ3、ホームエイドサービス用機材をパッケージ4、機織り用機材を5とし、カウンターバランス型機織りを含む訓練所用をパッケージ5A、ジャックタイプ型機織り機を含む訓練所用をパッケージ5Bと仕分けた。また、事務用機材をパッケージ6とした。

3.2.6 プロジェクト概要

以上の検討の結果本プロジェクトの基本構想は、地域間の経済格差に起因する農村部から都市部への人口移動、貧困層の拡大、海外出稼ぎ者の増加等の問題を解決するための一つの方策として、就業機会に恵まれない女性(婦人)を対象に簡単な職業技能を習得させるための婦人職業訓練所74ヶ所に対し、縫製、食品加工、玩具製作、ホームエイドサービス、機織りの5コースの

訓練用機材およびそれを補完する事務用機材また、第一次計画で縫製機材を整備した訓練所への追加機材を整備しようとするものである。

各コース1ヶ所当たりの機材整備内容は表 3.4 に示す通りである。また、計画対象 66 訓練所に対する整備内容は表 3.5 の通りである。

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ1 縫製用機材

(数量はいずれも1訓練所当たり)

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
パッケージ1-A、新規整備訓練所				
1-A.1 電動高速本縫直線ミシン	20	20	20	
1-A.2 足踏み式本縫ミシン	20	20	20	
1-A.3 ボタン穴かがりミシン	2	2	2	
1-A.4 ボタン付けミシン	2	2	2	
1-A.5 ふちかがりミシン	3	3	3	
1-A.6 ギャザーミシン	1	1	1	
1-A.7 ジグザグミシン	2	2	2	
1-A.8 スナップ付け機 (マニュアル操作)	1	1	1	
1-A.9 5本糸がかりミシン	1	1	1	
1-A.10 洋裁道具セット (下記20品目)	25	25	25	
(1) ハサミ				
(2) ピンキングハサミ				
(3) 型紙用ハサミ				
(4) 小ハサミ				
(5) ルレット				
(6) 鳩目				
(7) 洋裁用ノミ				
(8) メウチ				
(9) ボビン				
(10) ヘラ				
(11) 針山				
(12) 定規				
(13) 指ぬき				
(14) まち針				
(15) チャコ				
(16) 針セット				
(17) メジャー				
(18) ステッチ用定規				
(19) 糸切り用具				
(20) 裁縫箱				
1-A.11 定規セット (下記4品目)	25	25	25	
(1) 長尺				
(2) カーブ尺				
(3) 雲形定規				
(4) 角尺				
1-A.12 電気アイロン	2	2	2	
1-A.13 アイロン台	2	2	2	
1-A.14 作業机	4	4	4	
1-A.15 椅子	25	25	25	
1-A.16 鏡	1	1	1	
1-A.17 工具			1	機材の維持管理用

表3.4 ミニッツ所要請数量と計画数量比較表

パッケージ1 縫製用機材

(数量は訓練所によって異なる。現有機材数量との関係で不足量を整備する)

	Lucena		Marinduque		Antique		Tacloban		Rizal		Pagadian		Ipil		変更理由
	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	ミニッツ所要請数量	現地調査時修正所要請数量	
パッケージ1-B. 一部整備済訓練所用															
1-B.1 電動高速本縫直線ミシン	15	15	20	20	18	18	19	19	10	10	15	15	15	15	
1-B.2 足踏み式本縫ミシン	20	20	10	10	8	8	-	-	10	10	5	5	5	5	
1-B.3 ボタン穴かがりミシン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1-B.4 ボタン付けミシン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1-B.5 ふちかがりミシン	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	
1-B.6 ギャザーミシン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1-B.7 ジグザグミシン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1-B.8 スナップ付け機	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1-B.9 5本系かがりミシン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1-B.10 洋裁道具セット (下記20品目)	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
(1) ハサミ															
(2) ピンキングハサミ															
(3) 型紙用ハサミ															
(4) 小ハサミ															
(5) ルレット															
(6) 鳩目															
(7) 洋裁用ノミ															
(8) メウチ															
(9) ポピン															
(10) ヘラ															
(11) 針山															
(12) 定規															
(13) 指ぬき															
(14) まち針															
(15) チャコ															
(16) 針セット															
(17) メジャー															
(18) ステッチ用定規															
(19) 糸切り用具															
(20) 裁縫箱															
1-B.11 定規セット (下記4品目)	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
(1) 長尺															
(2) カーブ尺															
(3) 雲形定規															
(4) 角尺															
1-B.12 電気アイロン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1-B.13 アイロン台	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1-B.14 作業机	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1-B.15 椅子	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
1-B.16 鏡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1-B.17 工具															#

機材の維持管理用

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ1 縫製用機材

(数量はいずれも1訓練所当たり)

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
パッケージ1-C、第一次計画への追加機材 (縫製)				
1-C.1 ギャザーミシン	1	1	1	
1-C.2 ジグザグミシン	2	2	2	
1-C.3 5本糸がかりミシン	1	1	1	

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ2、食品加工用機材

(数量はいずれも1訓練所当たり)

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
2.1 冷蔵庫	1	1	1	
2.2 高压釜	2	2	2	
2.3 压力殺菌釜	1	1	1	
2.4 ガスオーブン	1	1	1	
2.5 挽き肉器	1	1	1	
2.6 果肉採取器	1	1	1	
2.7 フードカッター	1	1	1	
2.8 肉詰め器	1	1	1	
2.9 蒸製箱	1	1	1	
2.10 自動真空包装機	1	1	1	
2.11 肉叩き器(電動)	1	1	1	
2.12 搾汁器	1	1	1	
2.13 ゼリー強度測定器	4	2	2	教師1、1を各組共用、計2
2.14 上皿自動秤				
(1) - 50 kg 用	4	1	1	用途から1台を各組共用
(2) - 100 kg 用	4	1	1	上に同じ
(3) - 100 グラム用		6	6	調味量の測定用、教師1各組1計6
2.15 調理器具				
(1) フライ返し	6	6	6	
(2) フライ返し (穴あき)	6	6	6	
(3) フライ返し (穴なし)	6	6	6	
(4) 計量カップ(ステンレス製) 1/4, 1/2, 1/3及び1カップ)	4	6	6	教師1、各組1、計6
(5) 計量スプーン(ステンレス製) 1/8TSP, 1/4TSP, 1/2TSP, 1tsp, 1sp	4	6	6	教師1、各組1、計6
(6) フライパン	4	6	6	教師1、各組1、計6
(7) 中華鍋	6	6	6	
(8) 鍋 (大)	6	6	6	
(9) 鍋 (中)	6	6	6	
(10) 鍋 (小)	6	6	6	
(11) ザル (大)	6	6	6	
(12) ザル (中)	6	6	6	
(13) ザル (小)	6	6	6	
(14) ボール (大)	6	6	6	
(15) ボール (中)	6	6	6	
(16) ボール (小)	6	6	6	
(17) ステンレスザル (小)	6	6	6	
(18) ステンレスザル (中)	6	6	6	
(19) 木柄杓 (大)	6	6	6	
(20) 木柄杓 (中)	6	6	6	
(21) カバー付き角バット (大)	6	6	6	
(22) カバー付き角バット (中)	6	6	6	
(23) カバー付き角バット (小)	6	6	6	
(24) 水切り角バット (大)	6	6	6	
(25) 水切り角バット (中)	6	6	6	
(26) 水切り角バット (小)	6	6	6	
(27) 三段蒸し器	4	2	2	教師1、1を各組共用、計2
(28) まな板	6	6	6	
(29) 肉切り包丁	6	6	6	
(30) 調理用包丁 (大)	6	6	6	
(31) 調理用包丁 (中)	6	6	6	

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

機材名	ミニッツ時要 請数量	現地調査終了 時要請数量	計画 数量	ミニッツ時要請からの 変更理由
(32) 調理用包丁 (小)	6	6	6	
(33) 皮むき器	6	6	6	
(34) 骨切り包丁	6	6	6	
(35) 果物ナイフ	6	6	6	
(36) PHメーター	4	4	4	
(37) ジョウゴ (中)	6	6	6	
(38) 泡立て器 (大)	6	6	6	
(39) 泡立て器 (小)	6	6	6	
(40) 調理トンゴ (大)	6	6	6	
(41) 調理トンゴ (小)	6	6	6	
(42) 楕円型皿 (大)	6	6	6	
(43) 楕円型皿 (中)	6	6	6	
(44) 楕円型皿 (小)	6	6	6	
(45) ビン洗いブラシ	6	6	6	
(46) 食器一式 Aセット	6	6	6	
- 楕円型皿 (大)				
- 楕円型皿 (中)				
- 楕円型皿 (小)				
- ベーカー皿				
- スープ皿				
- パン皿				
- サラダ皿				
- ベリー皿				
- 平皿				
- ケーキ皿				
- ミルクカップ				
- コーヒーカップ				
(47) 食器一式 Bセット	6	6	6	
- ナイフ				
- フォーク				
- デザート用ナイフ				
- デザート用スプーン				
- スープ用スプーン				
- バターナイフ				
2.16 ミキサー	4	2	2	教師1、1を各組共用、計2
2.17 調理タイマー	4	6	6	教師1、各組1、計6
2.18 製麺器	4	6	6	上に同じ
2.19 密閉機		1	1	食品保存課程の訓練機材
2.20 粉碎機	1	1	1	
2.21 スライサー	1	1	1	
2.22 温度計	1	1	1	
2.23 ハンドレフラトメーター	1	1	1	
2.24 塩分計	1	1	1	
2.25 移動式ソーラー乾燥機	1	1	1	
2.26 A) 講義用机(木製)		2	2	作業机は濡れるので講義机を整備
B) 作業机(ステンレス製)	4	2	2	作業机2を講義用2に変更
2.27 椅子		20	20	ミニッツへの数量記載漏れ
2.28 肉用温度計	4	2	2	教師1、1を各組共用、計2
2.29 サービスワゴン	2	2	2	
2.30 保存容器	4	6	6	教師1、各組1、計6
2.31 簡易浄水器	2	2	2	
2.32 工具			1	機材の維持管理用

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ3、玩具製作用機材

(数量はいずれも1訓練所当たり)

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
3.1 足踏み式本縫いミシン	20	20	20	
3.2 縁かがりミシン	1	1	1	
3.3 洋裁道具セット (下記19品目)	20	20	20	
(1) ハサミ				
(2) ピンキングハサミ				
(3) 小ハサミ				
(4) ルレット				
(5) 鳩目				
(6) 洋裁用ノミ				
(7) メウチ				
(8) ボビン				
(9) ヘラ				
(10) 針山				
(11) 定規				
(12) 指ぬき				
(13) まち針				
(14) チャコ				
(15) 針セット				
(16) メジャー				
(17) ステッチ用定規				
(18) 糸切り用具				
(19) 裁縫箱				
3.4 上皿自動秤				
(1) 100 g	2	2	2	
(2) 1 kg	1	1	1	
(3) 12 kg	1	1	1	
3.5 直定規 (長さ1m、ステンレス製)	20	20	20	
3.6 カーブ定規 (ステンレス製)	20	20	20	
3.7 バントグラフ	10	20	20	各訓練生同時使用
3.8 糸とおし	20	20	20	
3.9 のり付け機		20	20	布張り合わせ機材
3.10 作業台	3	4	4	1組5名、生徒数20名で机4とした
3.11 電気アイロン		2	2	布類、製品の皺伸ばし機材
3.12 アイロン台		2	2	上に同じ
3.13 椅子	20	20	20	
3.14 工具			1	機材の維持管理用

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ4、ホームエイドサービス用機材 (数量はいずれも1訓練所当たり)

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
4.1 角形テーブル (4人掛け)	5	5	5	
椅子 (4脚、肘掛けなし)	20	20	20	
4.2 壁掛け扇風機	2	2	2	
4.3 ごみ箱 (大)	1	1	1	
4.4 タオルラック	2	2	2	
4.5 消火器 (練習用)	2	2	2	
4.6 流し台	1	1	1	
4.7 調理レンジ	2	2	2	
4.8 冷蔵庫 (非常用発電機を含む)	1	1	1	
4.9 デモンストレーションテーブル (鏡、黒板、ホワイトボード)	1	1	1	
4.10 長テーブル (10人掛け、椅子付き)	1	1	1	
4.11 換気扇	2	2	2	
4.12 計量カップ	2	2	2	
4.13 計量スプーン	2	2	2	
4.14 規定食計	2	2	2	
4.15 料理包丁	2	2	2	
4.16 皮むき器	2	2	2	
4.17 骨切り包丁	2	2	2	
4.18 おろし器	2	2	2	
4.19 こし器	2	2	2	
4.20 すり鉢・すりこぎ	2	2	2	
4.21 まな板	2	2	2	
4.22 お盆	2	2	2	
4.23 木製スプーン	2	2	2	
4.24 玉杓子	2	2	2	
4.25 ゴム製ヘラ	2	2	2	
4.26 回転式泡立て器	2	2	2	
4.27 小麦粉用ふるい	2	2	2	
4.28 ザル	2	2	2	
4.29 フライ返し	2	2	2	
4.30 料理バサミ	2	2	2	
4.31 ナベ	2	2	2	
4.32 蒸し器	2	2	2	
4.33 蓋付きフライパン	2	2	2	
4.34 皿 (大、中、小)	2	2	2	
4.35 食器用缶	2	2	2	
4.36 缶切り	2	2	2	
4.37 肉叩き	3	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.38 調理バサミ	2	2	2	
4.39 ボールセット	2	2	2	
4.40 茶こし	2	2	2	
4.41 こし器	2	2	2	
4.42 パイ皿セット	2	2	2	
4.43 ケーキ型枠セット	3	2	2	
4.44 角形パン	3	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.45 角パット	3	2	2	上に同じ
4.46 深鍋	2	2	2	
4.47 マフィン用型枠	3	2	2	教師1、1を各組共用、計2

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
4.48 ケーキ皿	3	2	2	上に同じ
4.49 アイスボックス	5	2	2	上に同じ
4.50 クッキー型	5	2	2	上に同じ
4.51 カスタードカップセット	2	2	2	
4.52 ブレンダー	1	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.53 コーヒーメーカー	1	2	2	上に同じ
4.54 高圧ナベ	1	2	2	上に同じ
4.55 電動ミキサー	1	1	1	
4.56 電動泡立て器		1	1	ケーキ製作に必要
4.57 多目的温度計	5	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.58 調理用タイマー	2	2	2	
4.59 めん棒	3	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.60 こし器	3	2	2	上に同じ
4.61 栓抜き	3	2	2	上に同じ
4.62 食器一式	12	2	2	上に同じ
4.63 ベッド、シーツ、毛布、枕カバー ベッドカバー一式	1	1	1	
4.64 トースター	1	1	1	
4.65 コーヒーセット	1	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.66 バーベキューセット	1	1	1	
4.67 ラック	5	2	2	教師1、1を各組共用、計2
4.68 ヤカン (紅茶用)	2	2	2	
4.69 アイロン	2	1	1	取り扱いデモンストレーション用
4.70 アイロン台	2	1	1	上に同じ
4.71 洗濯機 (4.5kg)	1	1	1	
4.72 掃除機	1	1	1	
4.73 床磨き器	1	1	1	
4.74 簡易浄水器	1	1	1	
4.75 オープン電子レンジ	1	1	1	
4.76 インターホン		2	2	来客対応訓練
4.77 ソファ		1	1	上に同じ
4.78 サイドテーブル		1	1	上に同じ
4.79 ベビーベッド		1	1	保育訓練機材
4.80 ベビーカー		1	1	上に同じ
4.81 ベビー用入浴設備		2	2	上に同じ
4.82 楽器 (オルガン)		1	1	上に同じ
4.83 緊急医療キット		2	2	救急訓練機材
4.84 工具			1	機材の維持管理用

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ5 機織り用機材

(数量はいずれも1訓練所当たり)

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
パッケージ5-A、カウンターバランス機織り用機材				
5-A.1 カウンタバランス機織り機 (Region V及びXII、椅子を含む)	10	10	10	
5-A.2 アクセサリー 糸(木綿、毛等)	500	500	500	
5-A.3 工具・アクセサリー (1) ハサミ(中) (2) 糸巻き (3) 糸車 (4) シヤトル (5) 整経台 (6) 綜統(そうこう) (7) 箆(おさ)	25	10	10	機織り機の数量による
5-A.4 糸巻き機	1	2	2	教師1、1を各組共用、計2
5-A.5 作業机	4	2	2	生徒数の減少
5-A.6 椅子	50	20	20	上に同じ
5-A.7 収納キャビネット	1	2	2	教材の量から算出
5-A.8 足踏み式本縫ミシン		4	4	バッグ等の製作機材
5-A.9 電動高速本縫直線ミシン		2	2	服等の製作機材
5-A.10 ふちかがりミシン		2	2	壁掛け等の製作機材
5-A.11 ジグザグミシン		2	2	壁掛け等の製作機材
パッケージ5-B、ジャックタイプ機織り用機材				
5-B.1 ジャックタイプ機織り機 (Region I及びCAR、椅子を含む)	10	10	10	
5-B.2 アクセサリー 糸(木綿、毛等)	500	500	500	
5-B.3 染色(各色)	100	100	100	
5-B.4 工具・アクセサリー (1) ハサミ(中) (2) 糸巻き (3) 糸車 (4) シヤトル (5) 整経台 (6) 綜統(そうこう) (7) 箆(おさ)	25	10	10	機織り機の数量による
5-B.5 糸巻き機	1	2	2	教師1、1を各組共用、計2
5-B.6 作業机	4	2	2	生徒数の減少
5-B.7 椅子	50	20	20	上に同じ
5-B.8 収納キャビネット	1	2	2	教材の量から算出
5-B.9 動力式ロータリープレス機	1	1	1	
5-B.10 足踏み式本縫ミシン		4	4	バッグ等の製作機材
5-B.11 電動高速本縫直線ミシン		2	2	服等の製作機材
5-B.12 ふちかがりミシン		2	2	壁掛け等の製作機材
5-B.13 ジグザグミシン		2	2	壁掛け等の製作機材

表3.4 ミニッツ時要請数量と計画数量比較表

パッケージ6、事務用機材

機材名	ミニッツ時要請数量	現地調査終了時要請数量	計画数量	ミニッツ時要請からの変更理由
パッケージ6、事務用機材 (各訓練所向け)				
6.1 コピー機	1	1	1	
6.2 電動タイプライター	1	1	1	
6.3 手動タイプライター	1	1	1	
6.4 スライドプロジェクター	1	1	1	
6.5 オーバーヘッドプロジェクター	1	1	1	
(社会福祉事業省本局向け)				
6.7 パソコン、プリンタ及びソフト	6	6	0	既に所有している機材の補強要請であるので緊急を要しない
6.8 撮影・映写機セット	1	1	0	訓練に直接関連しない
7. 通信機材・車輛 (社会福祉事業省本局向け)				
7.1 ワゴン車 (地域事務所向け、全14ヶ所)	1	1	0	訓練に直接関連しない
7.2 ファクシミリ (地域事務所1ヶ所当たり)	1	1	0	訓練に直接関連しない

表3.5 計画対象訓練所の整備内容

No.	センター所在地			訓練分野							事務用 機材	
	地域 (行政区)	州	市 町	設 置			食品 加工 2	玩具 製作 3	E-ATC F-7E-A 4	機織り		
				新設	一部 整備済	第一次計画 機材追加				5-A		5-B
			パッケージ名	1-A	1-B	1-C						6
1	I	Ilocos Norte	Laoag City	○								○
2	•	La Union	Bangar									○
3	•	La Union	San Fernando				○					○
4	•	Pangasinan	Dagupan				○					○
5	II	Nueva Vizcaya	Bayombong				○					○
6	•	Cagayan	Sofana			○						○
7	III	Bulacan	San Jose del Monte				○					○
8	•	Nueva Ecija	Cabanatuan City				○					○
9	•	Pampanga	Angels City			○						○
10	•	Tarlac	Tarlac	○								○
11	•	Zambales	Iba				○					○
12	IV	Batangas	Batangas City			○						○
13	•	Batangas	Padre Garcia	○								○
14	•	Cavite	Gen. Mariano			○						○
15	•	Cavite	Tagaytay City				○					○
16	•	Cavite	Tanza	○								○
17	•	Laguna	Sra. Cruz	○			○					○
18	•	Marinduque	Boac		○							○
19	•	Mindoro Oriental	Calapan				○					○
20	•	Quezon	Lucena City		○							○
21	•	Rizal	Calinza	○								○
22	•	Romblon	Odiongan	○								○
23	V	Albay	Legaspi City			○						○
24	•	Catanduanes	Virac								○	○
25	•	Sorsogon	Irosin								○	○
26	VI	Antique	San Jose		○							○
27	•	Quintaras	San Miguel, Jordan	○								○
28	VII	Bohol	Tagbilaran City				○					○
29	•	Cebu	Cebu city	○		○			○			○
30	•	Metro Cebu	Mandaue City					○				○
31	•	Negros Oriental	Balis City				○					○
32	•	Negros Oriental	Dumaguete City	○								○
33	•	Negros Oriental	Kanlaon				○					○
34	VIII	Leyte	Ormoc City	○								○
35	•	Leyte	Talibon City		○							○
36	•	Northern Samar	Brgy. Dalupit, Cataman	○			○					○
37	•	Southern Leyte	Maasin				○					○
38	IX	Basilan	Isabela				○					○
39	•	Zamboanga del Norte	Dapitan City				○					○
40	•	Zamboanga del Norte	Elioy	○								○
41	•	Zamboanga del Norte	Rizal		○							○
42	•	Zamboanga del Sur	Ipil		○							○
43	•	Zamboanga del Sur	Pagadian City		○							○
44	•	Zamboanga del Sur	Zamboanga City			○						○
45	X	Agusan del Norte	Butuan City				○					○
46	•	Surigao del Norte	Surigao City	○								○
47	•	Misamis Oriental	El Salvador			○						○
48	•	Misamis Oriental	Ozamis	○								○
49	XI	Davao del Norte	Malinao, Davao City			○			○			○
50	•	Davao del Norte	Tagan	○								○
51	•	Davao del Sur	Digos	○								○
52	•	South Cotabato	Koronadal	○								○
53	XII	Miguindao Armm	Cotabato City			○					○	○
54	•	North Cotabato	Kidapawan				○					○
55	NCR	Metro Manila	Calocan	○								○
56	•	Metro Manila	Makati			○						○
57	•	Metro Manila	Parañaque	○								○
58	•	Metro Manila	Quezon City			○						○
59	•	Metro Manila	Sra. Cruz			○						○
60	•	Metro Manila	Tondo			○						○
61	•	Metro Manila	Valenzuela	○								○
62	CAR	Abra	Bangued								○	○
63	•	Abra	Bucay	○								○
64	•	Kalinga	Tabuk	○								○
65	•	Bohol	La Trinidad								○	○
66	NTCLWWD	Metro Manila	Malate			○			○			○

3.3 基本設計

3.3.1 設計方針

(1) 自然条件に対する方針

フィリピン国の気象条件は地形の多様性から必ずしも一様でないが、おおまかに7月から10月までが雨期、12月から5月までが乾期、6月と11月は気候の変わりやすい気候と言える。降雨量や乾期、雨期の差は地域によって差異があるが相対湿度は全体的に高く機器の調達についてはこれらを考慮したものが望ましい。即ち、機器に付属する電気部品についてコンセントプラグ、スイッチ類については高温多湿による水滴防止処置を行ったものが適切であると考えられる。この点については、本計画が実施され、詳細設計を行う段階で考慮することが必要となると考えられる。

(2) 社会条件に対する方針

本計画では、農村地帯の婦人のために生計の機会を増進させることにより、婦人達が海外や近隣の都市部に雇用の機会を得るためにもはや移動しなくてすむようにすることが求められている。そして、より多くの地域を網羅しようという本計画の拡大要求はより多くの農村婦人が自分たちのために追加収入を稼ぐことが出来るような技術開発の機会を与えることを目指すものである。訓練修了後、訓練生が現在の家族の収入を増やすために少なくとも1,000ペソあるいはそれ以上の追加所得を得ることが可能となることが期待されている。この追加収入は家族にとって非常に有益であり、ともかくも現在の収入水準を貧困の境界より上に引き上げることになるであろう。

貧困の中の最貧困にある者が本計画では最優先されるという、訓練生を引き受けるときのこの方針が社会福祉事業省によって実践されている。訓練修了後、自立起業支援は修了生が新規に取得した技術を使って出発できるように初期資本経費の貸付けを通じて行なわれるものである。

コミュニティ生産センター組織は原材料の購入、完成品の販売の分野、その他生産分野における修了生の取引交渉力を強化育成するものとなっている。

(3) 機材調達に対する方針

機材調達については、この機材の使用者が機材に対し不慣れな職業訓練生であり、かつ年間の訓練回数が多く使用頻度が高いという点を考慮して、耐久性があり、出来るだけ構造が簡単で短期間に機材の使用方法が理解出来る機材を調達することが望ましい。

機材整備先が高温、多湿のフィリピンであるため気象条件を考慮しなければならない。

本計画機材の全ての使用電源は、現在各訓練所に配電されている単相交流電圧 220V, 60 Hz とする。各分野についての考慮すべき点は次の通り。

① 縫製用機材

当該分野の大きな割合を占める電動高速本縫直線ミシンと足踏み本縫ミシンについては第一次計画で供与されたものと同じ仕様のものが要請されている。当仕様に該当する機材は現地生産しているメーカーもあるが、TESDA 施設や民間縫製工場では日本製のものが多く使用されている。日本製のミシンの部品は、地方において純正部品の調達が難しい場合もあるが、マニラ首都圏での純正部品の調達は問題無い。第一次計画で調達されたミシンの修理は、各地区訓練所専属の保守要員が第一次計画で調達された補修用部品を使用して実施している。今回調査団が訪問した全ての訓練所では、これまで修理を外注したケースはみられなかった。社会福祉事業省では、各訓練所のための部品調達についてはマニラの本部が対処できる体制をとっている。他の特種ミシンについても、フィリピン国内では日本製が主流であり、マニラ首都圏での補修用部品の調達も上記と同様可能と判断され、日本製機材調達に於ける問題はない。このためミシンの調達は日本製を主として考慮する。

② 食品加工用機材

主な機材は食品加工機器、調理器具、食器類等となっている。本機材も使用頻度が高く、多くの訓練生が長期にわたって使用出来るように、使い易さとともに耐久性を重要視している。第一次計画で整備された機材は、破損しにくい材質のものでバラツキがなく、機材の品質が安定していると好評である。社会福祉事業省は機材の仕様を第一次計画と同じもので、強度、耐久性の面から日本製を強く希望している。今回調査団が訪問した、第一次計画機材で供与のあった訓練所では故障や修理を要する機材はみられなかった。このため食品加工用機材は日本製を主として考慮する。

③ 玩具製作用機材

主な機材は足踏み式本縫いミシンである、縫製用機材と同様な方針とする。

④ ホームエイドサービス用機材

家庭電化製品、育児用品、家具、調理機器・器具等が含まれている。調理用機材は食品加工用機材と同様な方針とする。家庭電化製品は、冷蔵庫、洗濯機、アイロン等大小多くの機種があるが使用する全ての電気品の電源は、一般家庭に配電されている単相交流 220V、60Hz とする。家具、育児用品の中には、訓練修了後、実際に取り扱うことになるのは現地で入手出来る製品となること、また、特に高い耐久性を要求されない機材があることから、この条件に見合うものは現地調達が適切と考えられる。

⑤ 機織り用機材

機織り機は各生産地域によってデザイン、色、材料等が微妙に異なっており、手織りであることが機械織りと違う付加価値を生んでいる。異なる地域では地域的に特色のあるデザインが用いられる傾向がある。大きく分けると北部ルソンを中心としたイカット¹⁾と呼ばれるデザインのものやミンダナオを中心とするダグマイ²⁾やヤカン³⁾と呼ばれるデザインのものである。機織り機もバックストラップとアップライトの2種類に分かれ、バックストラップが伝統的なものであるのに対し、アップライトは効率が良いため科学技術庁のフィリピン織物研究所 (Philippine Textile Research Institute, Department of Science and Technology) が普及に努めているものである。しかし、アップライト式はミンダナオのダバオやクタバト等で作られているティナラック⁴⁾やダグマイと呼ばれる織物を作ることが不可能である。各産地にある伝統的な機織り機は中古品の供給もあり価格の面で大きな利点がみられる。

本計画では、アバカ用に開発され操作性が良く効率の良いアップライトジャック式がアバカ産地である第V地区のソルソゴン、カタンデュアネス、ARMM地区のクタバトで要望されている、他方、従来のアップライト式は綿、絹、羊毛等の材料を使う第I地区のラ・ウニオン、CAR地区のベンケットとアブラで要請されている。これらの機織り機は、価格や材料の点から現地調達することが妥当であると考えられる。

注:

- 1) イカット (Ikat) - バギオ等の北部ルソン通常一般的な民族的機織りのデザイン
- 2) ダグマイ (Dagmay) - ダバオやクタバト等のミンダナオの一部地域で一般的な民族的機織りのデザイン
- 3) ヤカン (Yakan) - バックストラップ式機織り方法で作られる綿の手織りの織物。アップライト式機織り機ではこの特種な布は出来ない。
- 4) ティナラック (Tinalak) - 天然土性顔料で染めた糸を使ってバックストラップ式の機織り機で手織りされた織物。アップライト式の機織り機ではこの特種な織物は出来ない。

(4) 現地製品活用についての方針

第一次計画では、ほとんどの機材が日本調達され、作業机、椅子等が現地調達されている。本第二次計画においても、機材内容は第一次計画と同様でありまた、婦人職業訓練用の機材ということで初心者が繰り返し使用することから、耐久性に優れ、品質面での確実性から日本製品の調達を主とすることが適切であろうと考えられる。なお、作業机、椅子等現地調達で十分その使用目的に適応する機材や、機織り機のように現地の製作技術に適応した機種が必要とされるものについて、現地調達を行うこととする。

(5) 実施機関の維持管理能力に対する対応方針

社会福祉事業省は1991年から日本の無償資金協力によって整備された訓練用機材を用いて、縫製、食品加工、玩具製作、陶芸、籐加工にかかわる職業訓練コースを運営してきている。1991年から1995年までに数多くの訓練終了生を輩出し、就業率も約80%と高く、大きな成果を上げつつあると言える。第一次計画で整備された機材については、管理を非常に厳しく適切に行っており、紛失したり、大きく破損したりするものは見られない。これは、基本設計調査団員が第一次計画で機材が整備された婦人職業訓練所を調査し確認してきたところである。また、簡単な故障については、メンテナンススタッフが修理を行い、大きな問題は発生していない。現地調査からも、いづれの訓練所においても機材が大変良く管理され、良く稼働している状況を確認してきている。従って、社会福祉事業省は、婦人職業訓練所の運営および機材等の維持管理能力を十分に有していることがこれまでの実績から明らかであると判断される。

機材の維持管理の技術面においては、第一次計画と同等仕様・グレードの機材を整備するのであれば、問題はないものと判断される。アフターサービス体制がしっかりしていることは維持管理面から大切なことであるが、第一次計画における良好な維持管理状況から判断して、また計画する婦人職業訓練所が全国各地に点在することになるので補給事情を考慮して、ミシン針などの消耗品やスペアパーツを十分に供給することが維持管理面や機材の使用にとってより適切と考えられる。

(6) 機材の仕様・グレードの設定に対する方針

各機材の仕様・グレードは、第一次計画で整備された機材の活用状況を勘案し、同等レベルで、取り扱いの簡易なものを機材選定にあたっての基本方針とする。

本計画は、中期国家開発計画に基づき計画実施されている社会福祉事業省の婦人職業訓練計

画（第一次計画）をさらに拡大発展させるための機材整備計画（第二次計画）である。従って、第一次計画と同じ訓練分野の機材については、第一次計画で整備した機材と同等レベルの機材を選定することが、既存カリキュラムを使って訓練を行うことから言って妥当であると判断される。新規の訓練分野としては、ホームエイドサービス及び機織りの2分野があるが、ホームエイドサービスの訓練用に要請されている機材は、その多くが食品加工の訓練コースと同種の機材であり、食品加工用の機材の機種・レベルと同等の機材を選定することが妥当と考えられる。機織りに関する機材については、フィリピン国の地域によって異なる機織りの特色を考慮してその地方に適した機織り機の機種を選定する。また、作成しようとする製品の内容により必要と考えられる機材としてミシンがある。これについては、縫製用機材で想定しているミシンの機種・レベルと同等の機材を選定することとする。

また、機材数量については各分野の訓練カリキュラムと訓練内容に合わせて妥当数を計画する。機材の数量は、訓練生数や訓練生のグループ数および先生などの構成を考慮して、その適切な数量を検討・決定する。なお、既存の訓練分野である縫製、食品加工、玩具については、既存カリキュラムによって実際に訓練が実施されておりその成果も非常に高い。新規の訓練分野であるホームエイドサービス及び機織りに関するカリキュラム素案をもとに、これを検討し妥当な機材・機種を選定する。

（7）工期に対する方針

計画対象とする機材は、婦人職業訓練用のものであり、また、第一次計画で整備した機材と同等のもので、特殊機材はほとんどなく、汎用品が主となっている。耐久性・品質面での確実性を考慮することから日本調達品が多くなっているが、日本品で汎用品が多いことから限られた納期内に機材調達が可能であると考えられる。一部現地調達が適切であると考えられる機材は、一般的に現地で流通しているものが主であるが、品質面や決められた納期に確実に納入できる能力を有しているものを選定して機材計画を行う。

3.3.2 基本計画

(1) 全体計画

本計画は、地域間の経済格差に起因する農村部から都市部への人口移動、貧困層の拡大、海外出稼ぎ者の増加等の問題を解決するための一つの方策として、就職に恵まれない女性を訓練対象に整備される婦人職業訓練所に訓練用機材を整備するものである。

協力対象にする訓練コースは、女性の雇用に結びつくか各地域の社会条件に留意し、第一次計画の実績で原材料調達に地域性がなく、且つ訓練需要の多い縫製、食品加工、玩具製作の3コースに加え、新たなコースとして、ホームエイドサービスと機織り分野がある。

機材整備対象婦人職業訓練所は、新規に整備される訓練コース51ヶ所、フィリピン国政府の自己資金により一部機材整備済みの訓練コース7ヶ所、計58訓練コース(55訓練所)。

第一次計画で整備した訓練所に追加機材を整備する訓練コース16ヶ所、この第一次(16訓練コース)と第二次(58訓練コース)を併せた訓練コースは74ヶ所、合計訓練所数は66訓練所となる。(訓練所の中には訓練コースを複数持つ訓練所がある)。基本設計調査団員が直接現地調査(29ヶ所)した結果と質問票による調査結果から、計画されている訓練所の建物のスペースと設備はほぼ満足できるものである。

訓練所施設として必要な電気、ガス、水道等設備については、機材配置計画に基づき今後一部改装等する必要がある。これに必要な費用については、既に予算化等の措置が図られている。

機材設置に必要な施設の面積については、訓練分野別の機材配置モデル図を作成し、最低必要面積を算出し、予定されている施設の面積が十分であるかどうか検討した。

(2) 機材計画

a) 機材内容

機材内容については、婦人職業訓練所への整備であることを考慮し、使用頻度が高く、常に慣れない訓練生が使用するので品質的に確実で耐久性の高い機材が整備されなければならない。計画対象訓練所のサイトがフィリピン全土に点在するので、特に農村部の場合メンテナンスが容易な機材、すなわち構造が簡単で、スペアパーツの交換に特殊技術を要する機材は出来るだけ避けなければならない。

これらを勘案し、表3.5の主要機材内容に機材名と使用目的、表3.6の各訓練コースの機材点数で機材の種類、型式数、1訓練所当たりの計画機材点数を示す。

表 3.5 主要機材内容

機材名	概略仕様	1センター 当り台数	単価 (百万円)	使用目的 機材水準の妥当性
果肉搾取機	能力 150 Kg/時 材質 ステンレス 所用馬力 1.5 KW 据付面積 (概寸) 1.3mx0.5m	1	1.69	食品加工に於いて、ジュース、ジャム等を製造する際に果肉の皮、種、芯と果肉を分離する為に用いる機材である。 マンゴー、パパイヤ等のジャム、ジュース、フルーツキャンディの製造に必要な機材である。
ローラープレス	圧縮圧力 0~2000Kg 送り速度 0~10 m/min 所用馬力 1.5 KW 据付面積 (概寸) 850x650x1200 mm	1	1.64	機織りに於いて、機織り素材及び、機織り生地を染織後に余分な染料を除く、又はこれらを柔らかくするために用いる機材で、カーペット、バッグ等の製作生地の機織りに必要な機材である。
粉砕機	能力 150Kg/時 材質 高硬張力鋼 所用馬力 1.5 KW 据付面積 48cmx65cm	1	1.08	食品加工訓練に於いて、小豆、大豆、ピーナッツ等を粉砕するに用いる機材で、クッキー等を作るのに必要な機材である。
電動高速本縫 直線ミシン	中厚物用 最高縫い速度 4500 針/分 針棒スローク 約 31mm	20	0.12	縫製訓練に於いて、服類、シャツ類等を製作するのに必要な機材で、訓練生1コース25名編成で訓練を行うため、1訓練所20台を計画した。
足踏み式本縫 ミシン	最高縫速度 1000 針/分 最高縫い目長さ 5mm 踏み台 ヒンジ式	20	0.08	縫製訓練に於いて、服類、シャツ類等製作するのに必要な機材で、特に初期段階に使用するため足踏み式を計画した。 訓練生が1コース25名編成で訓練を行うが、実績から足踏み式に慣れている生徒を見込み1訓練所20台を計画した。

各訓練コース別の機材点数は以下の通りである。

表3.6 各訓練コースの機材点数

	種類数	一訓練所当たりの点数	合計点数
縫製コース	38	136	3,974
食品加工コース	81	376	6,768
玩具製作コース	31	195	390
ホームエイドコース	93	169	338
機織りコース	22	70	420
事務用機材	6	6	330
合計	271	952	12,220

上記機材を整備する訓練所数は以下の通りである。

1. 縫製訓練所
 - 1-A 縫製新規の訓練所 23ヶ所
 - 1-B 一部整備済み縫製訓練所 7ヶ所
 - 1-C 第一次計画で整備した縫製訓練所への追加 16ヶ所
2. 食品加工訓練所 18ヶ所
3. 玩具製作訓練所 2ヶ所
4. ホームエイドサービス訓練所 2ヶ所
5. 機織り訓練所
 - 5-A カウンターバランスタイプ 3ヶ所
 - 5-B ジャックタイプ 3ヶ所
6. 事務用機材を整備する訓練所 55ヶ所

b) 機材の仕様水準

機材調達先は日本及びフィリピンで計画しているが次の理由により日本調達が多くなっている。

本婦人職業訓練所の訓練スケジュールには、全日コースと半日コースがある。普通、月曜日から金曜日まで訓練が行われるが、特別セッションとして、土曜日や日曜日にも需要に応じて訓練を行うこともある。以下の表3.7に、本計画で対象となっている縫製、食品加工、玩具、ホームエイドサービス、機織りの5分野の標準的な訓練スケジュールについて記す。

表3.7 訓練スケジュール

訓練コース	日 程		年間の 訓練生数
	一コース当たりの日数と 訓練生の定員	年間コース 回数	
縫製	30日間（半日コースの場合） （土曜日と日曜日を除く） 標準定員は25名 （時には午前と午後の部 を合わせて50名）	10回	250
食品加工	2週間 （土曜日と日曜日を除く） 標準定員は20名	12回	240
玩具	8日間 （土曜日と日曜日を除く） 標準定員は20名	12回	240
ホームエイド サービス	20日間 （土曜日と日曜日を除く） 標準定員は20名	12回	240
機織り	10日間 （土曜日と日曜日を除く） 標準定員は20名	12回	240

上記の表から1年間当たり多数の訓練生（1訓練所当たり）が機材を繰り返しを取り扱うことがわかる。毎回、初心者が機材の適切な使い方から研修を受け、繰り返しそして交代で使用する事となるため、耐久性の高い機材を整備することが必要と考えられる。また、出来るだけ長期間使用できることが、故障や損壊による維持管理費負担を軽減するうえで重要であると考えられる。現地品は、一般的に品質・価格およびサイズともばらつきがる。そのため、品質面において確実な機材を整備するために、日本調達品の割合が多くなっている。次の表3.8に現地調達品につきその理由を述べる。

表3.8 現地調達品選定理由

品目	概略仕様	現地調達理由
作業机及び作業台	材質：木製 寸法：1800(L)X900(W)X750(H)mm	机、作業台はほぼ固定して使用する機材で、材質的にも日本製と遜色がない。
椅子	材質：木製 寸法：465(W)X465(D)X735(H)mm	上に同じ
鏡	寸法：600(L)X1800(H)X60(W)mm	縫製訓練で試着時に用いるもので、使用するために破損する機材ではない。
ベッド	材質：木製 付属品：マットレス、シーツ等	材質的には現地製で十分訓練目的にかなう。付属品についても品質的に問題はない。
ソファ	ソファ3点セット	家具調度品の取り扱い及び清掃等の訓練に用いる機材で取扱いは慎重にされる。
ベビーベッド	側面開閉式 付属品：マットレス、シーツ等	材質的には現地流通品で十分と考えられる。付属品についても品質的に問題はない。
ベビー用入浴設備	材質：ポリエステル 寸法：800(L)X500(W)X450(H)mm	実の子供をに使用するのではなく、模擬訓練で技術を習得するための機材であり、現地流通品で問題はない。
機織り機	カウンターバランス型 ジャックタイプ型	現地の伝統工芸を継承する要素があり現地製の機材が適切である。
アクセサリ系	木綿等	上に同じ
染料	織物染色用	上に同じ

(3) 施設整備計画

a) 分野別機材設置に必要な面積

縫製、食品加工、玩具製作、ホームエイドサービス、機織りの各分野に計画されている機材の配置については、各訓練所で予定している施設の面積、間取りによって決定される。

しかし、間取りとは別に最低限必要な面積を算出するために、機材の大きさ、使用目的を考慮してモデル配置図を作成し、機材を設置するために必要な面積を以下のように算出した。

これに基づいて、機材設置を計画している施設の面積が妥当かどうか判断することとする。

① 縫製用機材 必要面積 112.0 m²

縫製用機材の主はミシン類である。ミシンの大きさは電動その他ボタン付けミシン等特殊ミシンと足踏みミシンの二種類に分類される。電動ミシン類は1.2mX0.65mに椅子が0.5mである、故に1.2m X 1.2mとした。足踏みミシンは0.65X1.2mとして配置図を作成した。この他講義等を行うにはこの場所を兼用するか、別に設けるかは訓練所の部屋の余裕で決定される。

② 食品加工用機材 必要面積 136.5 m²

食品加工用機材は冷蔵庫等比較的大きなものと、鍋、フライパン、等中間の大きさ、スプーン、食器類等の様に小さい機材がある。冷蔵庫のように大きな機材は床に直接設置し、鍋、フライパン等中間の大きさから小さい機材は収納棚が先方政府で用意されるものとして配置図を作成した。配置は部屋の周囲に機材を置き、中央で訓練が行われるように考慮した。なお、収納棚に入り占有面積の小さいものはこの配置図には記入していない。

③ 玩具製作用機材 必要面積 70.0 m²

玩具用機材については、主としてミシンと手縫いによる、縫いぐるみ等の製作技術を修得させる技術訓練である。この為、ミシンは足踏みミシンに、手縫いを行うための作業台が必要で、機材の必要面積もこれらで占有される。

④ ホームエイドサービス用機材 必要面積 143.9 m²

ホームエイドサービスは、訓練内容が大別して、4つに分類される。1)椅子とテーブルで構成される居間及び講義を行う部分、2)応接セット、サイドテーブル等で構成される客間の部分、3)ベビーベッド、洗濯機、幼児入浴セット等で構成される育児、洗濯アイロン、家事の部分、4)冷蔵庫、料理用レンジ等で構成される料理の部分。これらを仕切りで別けることも考えられるが、ここでは独立した部屋として配置図を作成した、料理用機材の配置は食品加工用機材の配置と同じ考えでおこなった。

⑤ 機織り用機材 必要面積 85.8 m²

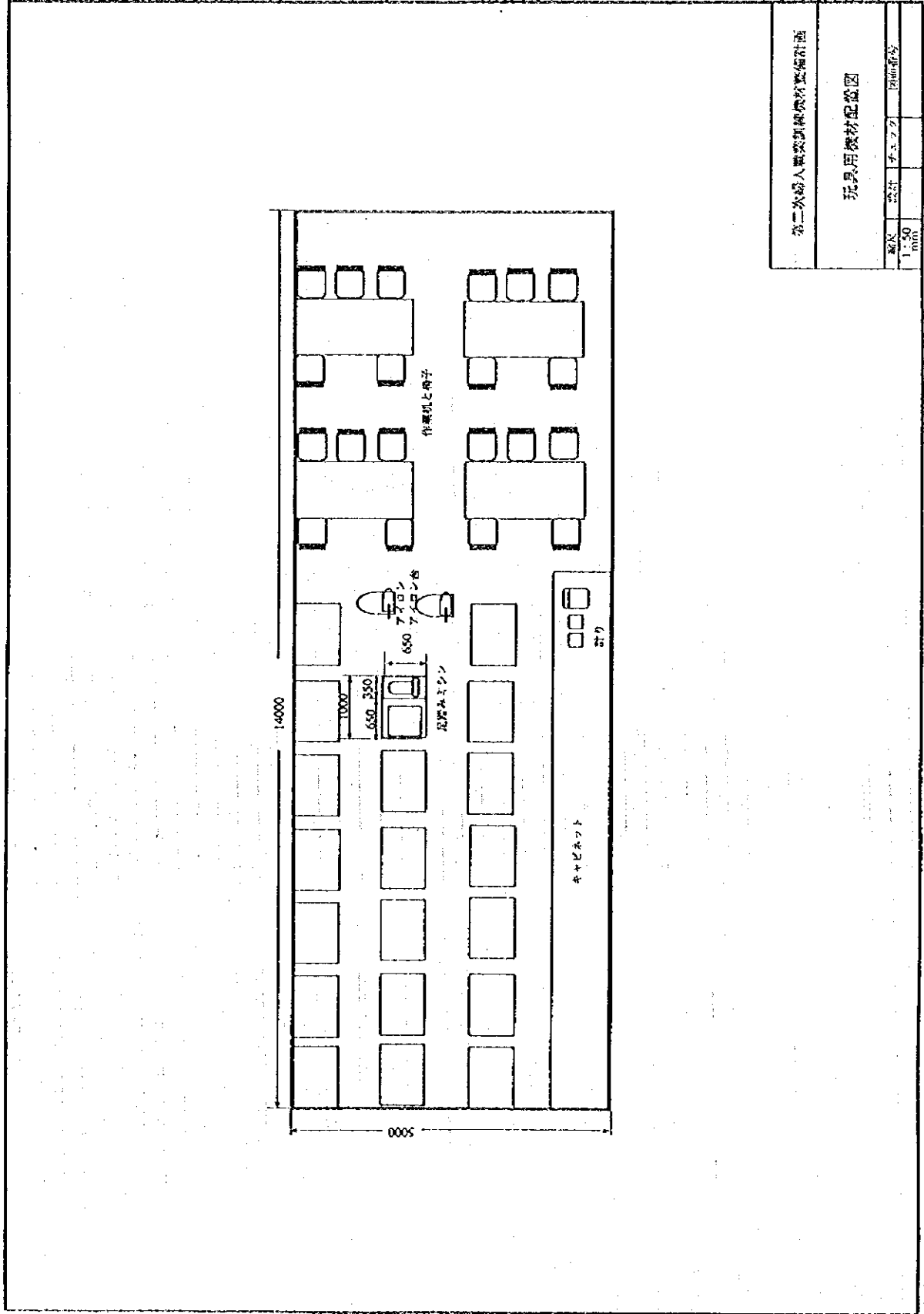
機織り機は先方政府の要請に基づき、手動の機織り機を計画している。手動の機織り機にはジャックタイプと、カウンターウエイトタイプとあるが、ジャックタイプの方が多少大きいのでここではジャックタイプの寸法で配置図を作成した。機織り機の概略寸法を、1.1mX0.9m、椅子0.6mX0.9で合計1.8m X 0.9mとした。

b) 機材配置モデル図

図3.1に分野別の機材配置モデル図を示す。

c) 施設整備計画

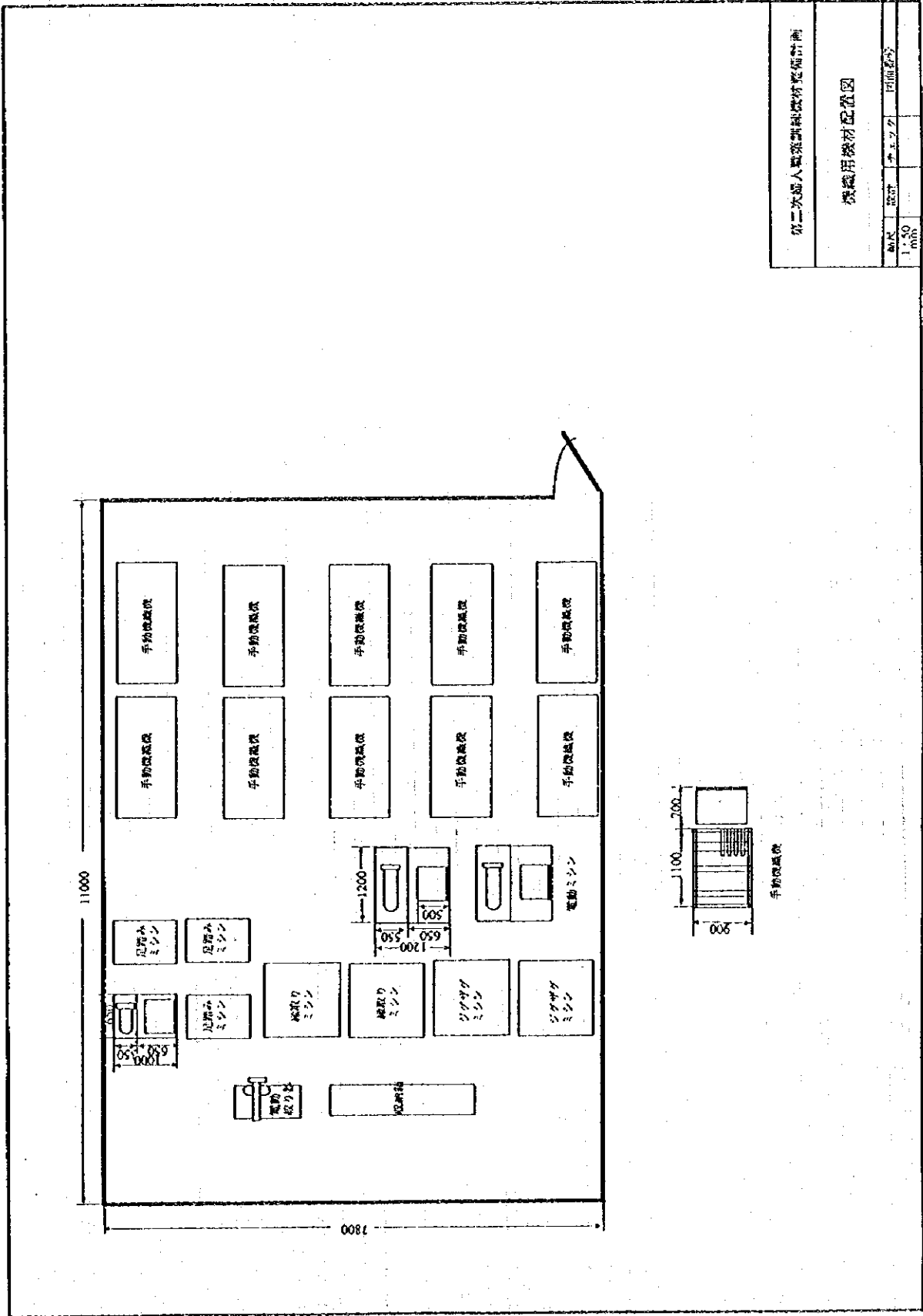
前述の必要面積と現在準備されている施設の面積とを比較検討すると結果は、表3.9の通りである。施設面積が不足する所があるが、大差はないので問題ないと判断される。機材設置時に、詳細配置を検討するものとする。



第二次婦人職業訓練所玩具備付室

玩具用機材配設図

縮尺	設計	チェック	印刷番号
1:50			
mm			



第二次師範実業訓練校機材配置計画

機械用機材配置図

単位	設計	チェック	可能数
mm	1:50		

表3.9 訓練所施設面積の検討

No.	行政区	州	訓練所住所 (市、郡)	訓練分野	施設面積 (m ²)	必要面積 (m ²)	評価と対策
1	I	Ilocos Norte	Laoag	縫製	120	112	OK
2		La Union	Bangar	機織り	126	78	OK
3		La Union	San Fernand	食品加工	126	137	機材配置の工夫
4		Pangasinan	Dagupan	食品加工	174	137	OK
5	II	Nueva Viscaya	Bayombong	食品加工	150	137	OK
6	III	Bulacan	San Jose del Monte	食品加工	140	137	OK
7		Nueva Ecija	Cabanatuan	食品加工	99	137	拡張計画有り
8		Tarlac	Tarlac	縫製	105	112	OK
9		Zambales	Iba	食品加工	266	137	OK
10	IV	Batangas	Poblacion, Padre Garcia	縫製	84	112	拡張計画有り、拡張後は154m ² になる予定
11		Cavite	Tagaytay City	食品加工	136	137	OK
12		Cavite	Tanza	縫製	180	112	OK
13F		Laguna	Sta. Cruz	食品加工	118	137	拡張計画有り
13S				縫製	118	112	OK
14		Marinduque	Boac	縫製	150	112	OK
15		Mindoro	Libis, Calapan	食品加工	132	137	OK
16		Quezon	Gulang-Gulang, Lucena	縫製	160	112	OK
17		Rizal	Municipal Hall, Cainta, Rizal	縫製	144	112	OK
18		Romblon	Odiangan	縫製	200	112	OK
19	V	Catanduanes	Virac	機織り	216	86	OK
20		Sorsogon	Poblacion Irosin, Sorsogon	機織り	89	86	OK
21	VI	Antique	San Jose,	縫製	121	112	OK
22		Guimaras (Jordan)	San Miguel, Jordan	縫製	96	112	機材配置の工夫
23	VII	Bohol	Tagbilaran	食品加工	225	137	OK
24H		Cebu	Labangon, Cebu city	ホームエイドサービス	150	144	OK
24S				縫製	112	112	OK
25		Metro Cebu	Mandaue city	玩具製作	145	70	OK
26		Negros Oriental	Bais city	食品加工	150	137	OK
27		Negros Oriental	Dumaguete city	縫製	160	112	OK
28		Negros Oriental	Canlaon city	食品加工	200	137	OK
29	VIII	Leyte	Ormoc city	縫製	163	112	OK
30		Leyte	Tacloban city	縫製	96	112	拡張計画有り
31		Northern Samar	Brgy. Dalakit, Catarman	縫製	144	112	OK
				食品加工	184	137	OK
32		Southern Leyte	Bray-Asuncion, Maasin	食品加工	136	137	OK
33	IX	Basilan	Isabela	食品加工	95	137	拡張計画有り
34		Zamboanga del Norte	Dapitan City	食品加工	129	137	機材配置の工夫

No.	行政区	州	訓練所住所 (市、郡)	訓練分野	施設面積 (m2)	必要面積 (m2)	評価と対策
35		Zamboanga del Norte	Liloy	縫製	96	112	機材配置の工夫
36		Zamboanga del Norte	Rizal	縫製	130	112	OK
37		Zamboanga del Sur	Ipil	縫製	153	112	OK
38		Zamboanga del Sur	Pagadian City	縫製	166	112	OK
39	X	Agusan Norte	Butuan City	縫製	132	112	OK
40		Surigao del Norte	Surigao	縫製	230	137	OK
41		Misamis Oriental	Ozamis city	縫製	120	112	OK
42	XI	Davao del Norte	Matina, Davao City	玩具製作	350	112	OK
43		Davao del Norte	Tagum	縫製	160	112	OK
44		Davao del Sur	Mati, Digos	縫製	108	112	OK
45		South Cotabato	Koronadal	縫製	140	112	OK
46	XII	Maguindanao	Cotobato city	機織り	168	87	OK
47		North Cotabato	Kidopawan	食品加工	200	137	OK
48	NCR	Metro Manila	A. Mabini St., Caloocan city	縫製	605	112	OK
49		Metro Manila	Barangay San Isidro, Pararaque	縫製	86	112	拡張計画有り
50		Metro Manila	Dalandanor, Valenzuela	縫製	420	112	OK
51	CAR	Abra	Bangued	機織り	168	87	OK
52		Abra	Bucay	縫製	200	112	OK
53		Kalinga	Bulanao, Tabuk	縫製	100	112	OK
54		Benguet	La Trinidad	機織り	168	87	OK
55	NTCLW WD	Metro Manila	Malate	ホームエイド サービス	284	144	OK

3.4 プロジェクトの実施体制

3.4.1 組織

プロジェクト実施機関は社会福祉事業省で、その組織図を図3.2に示す。

社会福祉事業省は、マニラの本部の職員数が512人、また14の地域事務所があり、地域事務所の職員数合計は、2,081人である。総計2,593人である。またこのうち、現在婦人職業訓練所の運営に携わっている職員は、合計で174人である。表3.10に社会福祉事業省の地域別職員数と婦人職業訓練所の職員数(1995年)を示す。

婦人職業訓練所は、各地域事務所の管轄下にある。マニラの本部に婦人福祉局があり、ここが各地域事務所を通じて、フィリピン全土の婦人職業訓練所を統轄している。社会福祉事業省の業務内容については、第2章で既に述べたとおりである。中央レベルで本計画を統括する婦人福祉局の業務としては、恵まれない層の婦人を対象に、健康(保健、衛生、栄養、育児)、識字教育、生計創出(技能訓練と就業機会の拡大支援)及び社会参加の推進を目的とする活動を実施している。

3.4.2 予算

社会福祉事業省の予算および国家予算の推移は以下のとおりである。社会福祉事業省の国家予算に占める割合は0.2%程度と大きくはないが、1993年から1995年までの3年間における社会福祉事業省の予算は、同期間の国家予算以上に伸びている。

年	社会福祉事業省予算 (百万ペソ)	比率 (1993年を100とする)	国家予算 (百万ペソ)	比率 (1993年を100とする)
1993	445	100	313,746	100
1994	756	169	369,047	118
1995	887	199	392,450	125

また、婦人職業訓練所の運営のための予算は、1994年に40,610,000ペソ、1995年に40,914,203ペソ計上されており、社会福祉事業省全体予算の約5%を占めている。なお、第一次計画の実施・運営と同様に、婦人職業訓練所の建物の使用ならびに電気・水道等の維持管理費について、地方政府(市町村等)が提供あるいは費用負担することになる訓練所がある。そのため、建物の使用料や維持管理費のすべてについて社会福祉事業省の予算を必要とするわけではなく、費用負担が重くかかることにはならない。

3.4.3 要員、技術レベル

図3.3に社会福祉事業省の地域事務所と婦人職業訓練所との関連を示す。この組織図に見られるように、各婦人職業訓練所には、所長1名、トレーナー1名、社会福祉スタッフ1名、プロジェクト評価スタッフ1名、維持管理スタッフ1名、および警備員を標準構成として配属される。

訓練コースの要めであるトレーナーの資格は、工業教育分野における学士コースを卒業していること、もしくは同等の学歴を持つことが一般条件である。また、当該訓練コースにつき教育経験や工場等での作業経験を十分に有することも条件となっている。また、社会的に恵まれない女性に対する職務を希望することも条件となっている。

新規の婦人職業訓練所開設にあたって、トレーナーを新たに雇用する必要があるが、縫製、食品加工、玩具製作の各分野の訓練コースでは、TESDAのレベルの高い職業訓練コース（縫製や食品加工）で技術を身につけ人を採用するなどの方法により可能である。また、機織りの職業訓練コースでは、教育・文化・スポーツ省管轄下のフィリピン織物研究所からの技術的支援やその研究所で機織りの技能訓練を受けた人を採用するなどの方法により可能である。

また、機材の定期点検を行うため、各地域事務所には、技術スタッフが配属されている。地域レベルで対処不可能な故障が起こった場合には、マニラ本部（婦人福祉局）で、適切な対応をするよう連絡することとなっている。

婦人職業訓練所の各スタッフの役割りを以下に述べる。

(1) 所長

訓練所の全体管理

訓練生の募集にあたって、地方政府、NGO等との連携を図る

必要に応じて、訓練生の交通費、生活費の支援を地方政府に依頼する

訓練コース開始時に訓練生に対し、訓練所の方針や規定を説明する

月報のとりまとめ

訓練生が卒業後、どのような状況にあるのかモニタリングを行うため、 balanガイの長、NGO、その他政府機関と連絡をとる。

(2) プロジェクト評価スタッフ

他省庁と連携して、どのような技能が工場で要求されているかを調べる。

卒業生の就職先を探すこと。また、製作品の販売先の確保
身につけた技術が就職にどうつながっているのかモニタリングを行う
基礎的なビジネスマネジメント技能についての講習を行う

(3) 社会福祉スタッフ

訓練コースの実施状況の管理につき所長をアシストする
訓練生の出席状況確認
訓練所の運営一般につき所長に報告する
訓練の進展状況に所長に報告する

(4) トレーナー

訓練スケジュールの作成
訓練生の適正診断
技能訓練を行う
各訓練生の評価を行う

(5) 維持管理スタッフ

機材の日常的維持管理を行う
訓練所内のスタッフが対応できないような故障については所長を通じて地域の技術スタッフの
支援を求める

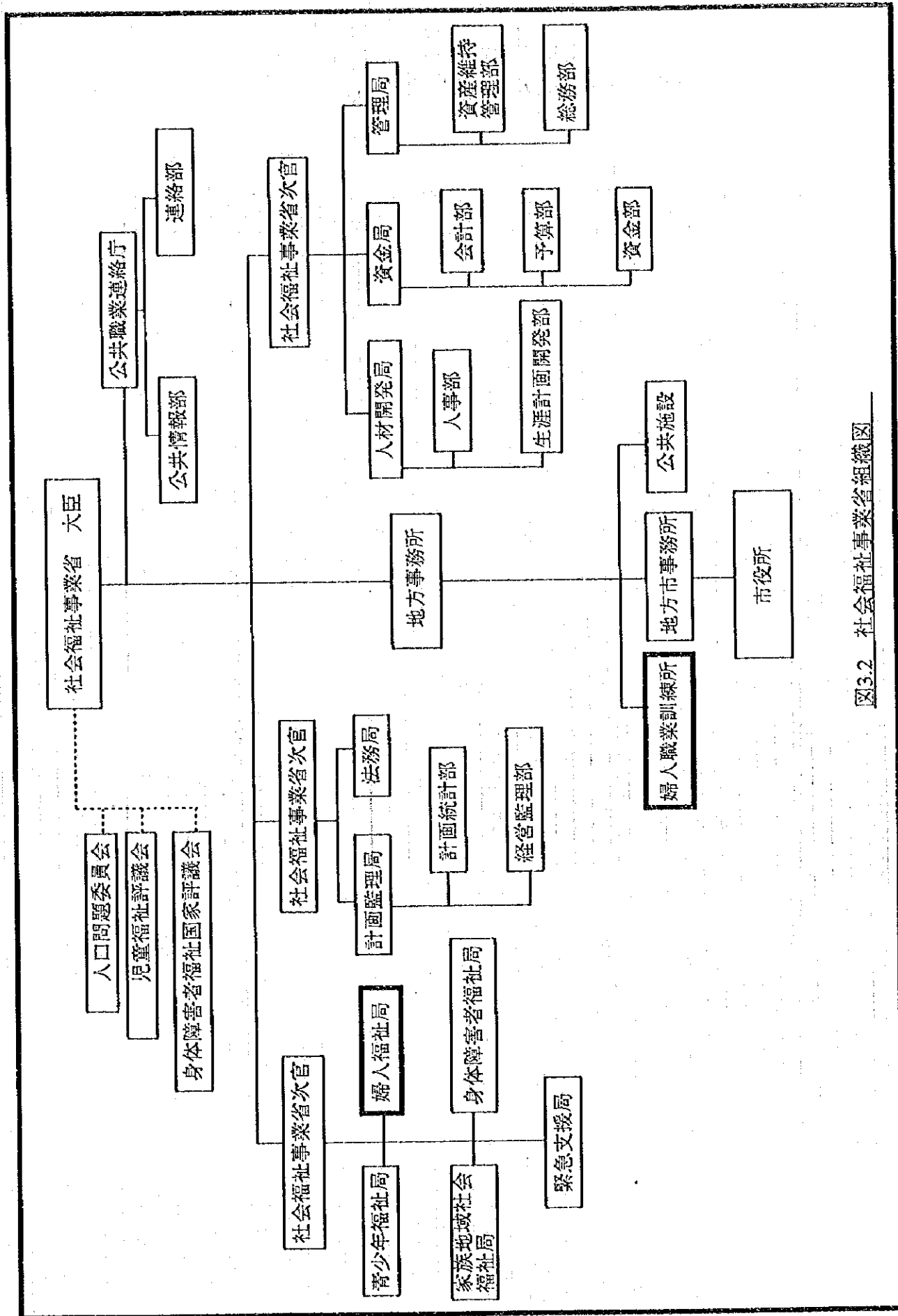


図3.2 社会福祉事業省組織図

表3.10 社会福祉事業省の
地域別職員数と婦人職業訓練所の職員数 (1995年)

地域 事務所	職員数	
	地域事務所	婦人職業訓練所
I	111	12
II	29	10
III	142	12
IV	192	15
V	92	11
VI	107	9
VII	39	11
VIII	109	12
IX	147	8
X	116	14
XI	98	12
XII	98	11
CAR	69	9
NCR	582	28
計	1,931	174

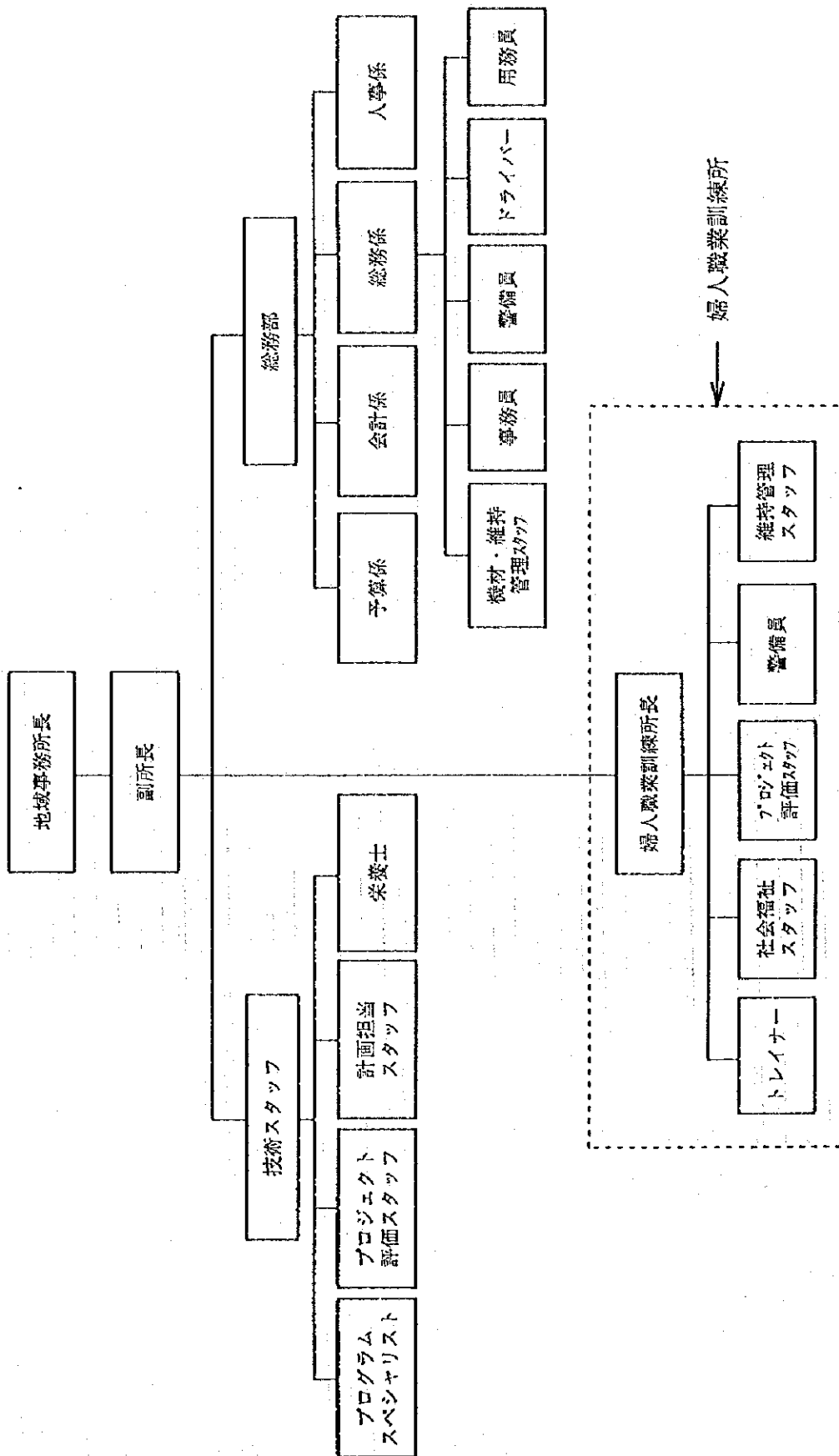


図3.3 社会福祉事業省地域事務所と婦人職業訓練所の組織



第4章 事業計画

4.1 施工計画

4.1.1 施工方針

本計画の実施は、機材の実施設計、入札関連業務、機材調達、各サイトまでの輸送、搬入確認まで1年以内に完了しなければならない。よって、数量・工期を十分考慮した上で、計画通りプロジェクトが完了するような施工計画を立案、提案する。

機材を据え付ける建物の内装改善は、先方政府の責任で行うがこの責任機関は社会福祉事業省である。施設整備は機材が到着以前に完了する必要がある。計画通りプロジェクトが完了するようにコンサルタントから、適期にスポット監理者を配し、全体工程の把握を行い、プロジェクトの進捗状況を常に監理する体制とする。

4.1.2 施工上の留意事項

機材整備の訓練所が第一次の追加機材訓練所を含め66訓練所と多く、機材の仕向先と仕分けを遺漏のないようにしなければならない。このために、日本調達品機材の仕分けは日本船積み前に各種製造業者から運ばれてくる機材を一ヶ所に集積し、全機材が集積地に集まるのを待って、機材を仕向けサイト別に仕分け梱包し、海上輸送を行う。フィリピン国ではマニラ到着後いったん倉庫に入れ梱包状態のまま数量確認を行った後、仕向けサイト別に内陸輸送する。各機材の最終数量確認は各訓練所で社会福祉事業省および納入業者が行うこととする。

フィリピン調達機材の仕分けは、マニラ市内の倉庫で仕分け、仕向けリージョン別にその訓練所に内陸輸送する。

4.1.3 施工区分

本計画の施工区分は、計画機材を各訓練所に輸送・搬入することおよび施工監理が、我が国の施工範囲である。フィリピン国側の施工範囲は、各訓練所に整備する機材は重量物等が含まれていないので、据え付けに必要な特殊機械設備の必要性はないが、マニラ市内の倉庫の手配及び各訓練所で開梱するのに必要な場所の確保である。

4.1.4 施工監理計画

施工監理については機材整備対象訓練所ヶ所及び各訓練所当たりの機材点数が多いが、機材そのものに特殊性はないので仕向け先別の仕分けが充分であればほぼ順調に施工出来るものと考えられる。ただ、機材点数が多いので輸送・搬入が適切に行われたことを確認する必要がある。これらを勘案しスポット監理での施工監理計画とした。

本プロジェクトにおける施工監理業務の主なものは以下の通りである。

- a) 機材詳細仕様の協議作成
- b) 機材の配置計画の検討（各婦人職業訓練所）
- c) 入札図書作成、入札業務補佐
- d) 供与機材の出荷前検査（日本調達品及びフィリピン国調達品）
- e) 日本国調達品のマニラ到着時の外観・梱包数量確認
- f) 供与機材の現地確認（地域別に代表的な婦人職業訓練所を選び搬入状況を確認する）

また、各技術者の担当業務は以下の通りである。

- a) 総括（スポット）
 - ①全業務の総括
 - ②実施機関との契約・協議
 - ③機材の詳細仕様の協議・作成
- b) 機材1（スポット）
 - ①機材の詳細仕様の協議・作成
 - ②機材配置計画の検討
 - ③供与機材の現地搬入確認
- c) 機材2（スポット）
 - ①機材の出荷前検査（日本調達品及び現地調達品）
 - ②供与機材の現地搬入確認
- d) 入札図書・事務
 - ①入札図書作成、入札業務

4.1.5 機材調達計画

調達先は品質、耐久性の面から本計画の機材調達は日本品が多くなっている。日本調達品の場合、各製造業者から運ばれてくる機材をいったん1ヶ所に集積し、仕向け先別に仕分けを行い梱包・船積後、マニラ港に向け海上輸送される。マニラ港で通関手続きを済ませ、外観や梱包数量をチェックしたのち国内輸送する。全国各地の各サイトまでの搬入は、各リージョン別に輸送計画を行い各リージョンの監理の基に各訓練所に搬入する。

4.1.6 実施工程

本計画は、日本国およびフィリピン国政府間の本計画に係わる無償資金協力に関する交換公文(E/N)により始動する。

4.1.7 相手国側負担事項

フィリピン国側負担事項としては、以下のものがある。

- (1) 日本の外国為替銀行に対する手数料の負担（A/Pのアドバイス手数料および支払い手数料）
- (2) フィリピン国荷揚げ港における資機材の陸揚げ、通関、免税などにつき迅速な措置を行う。
- (3) センター（婦人職業訓練所）の適切なスペース確保と電気、ガス、水道等の施設整備（必要に応じて）
- (4) プロジェクトにかかわる本邦人に対する入国滞在のための便宜供与。
- (5) プロジェクトにより供与される機材の適正使用。
- (6) 機材の適正な維持管理と日本国政府への定期的報告。
- (7) 無償資金協力プロジェクトとしてのスコープ以外の必要経費の負担。

このなかで、婦人職業訓練所の建物および設備（電気、水道、ガス）の改修費用があるが、婦人職業訓練所として予定しているサイトには既存の建物があり、電気、水道、ガスなどの設備を有している。ただし、本計画で整備することとなる機材の種類と機材の大きさによって、必要とするスペースに合わせた部屋のレイアウトの改善と電気配線や水道管の延長工事が必要となる。計画対象とする婦人職業訓練所全体では約11.5百万ペソ（約46.1百万円）の費用を要すると見積もられている。なお、この費用は、先方政府実施機関や地方政府によって予算化などの措置が図られている。

4.2 概算事業費

4.2.1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は約7.55億円となり、先に述べた日本とフィリピン国との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば、次のとおり見積もられる。

(1) 日本側負担事業費

(a) 機材費	6.88億円
(b) 設計・監理費	0.21億円
合計	7.09億円

(2) フィリピン国負担経費

(a) 訓練所建物・設備改修費	11.5百万ペソ (約4.61百万円)
-----------------	---------------------

(3) 積算条件

(a) 積算時点	平成8年1月
(b) 為替交換レート	1 USドル=97.00円 1ペソ=4.00円
(c) 施工期間	単年度施工
(d) その他	本計画は、日本国の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

4.2.2 維持・管理計画

(1) 各婦人職業訓練所には、維持管理スタッフが配属され、機材の日常的維持管理を行う。また、全国に14ヶ所ある社会福祉事業省の地域事務所には、技術スタッフがあり、各訓練所で対応出来ないような故障の場合、技術的支援を行う体制となっている。

(2) 維持・管理費

第一次計画で機材を整備した訓練所では、機材の故障はほとんど見られず、保守・修理にはほとんど経費を要していない。また、スペアパーツも供給されたものでほぼまかなわれているため、購入経費もほとんどかかっていない。その他、維持管理費として要するものは、電気代、水道代、ガス代などで訓練コースによってそれぞれの使用料が異なるので一律にはいえないが、

既存の婦人職業訓練所で現在かかっている費用から判断すると、一ヶ所の婦人職業訓練所で一ヶ月当たり1,000ペソ必要となる。年間では12,000ペソ（約4.8万円/年）必要な計算となる。

なお、機材の更新年数としては、各機材の使用頻度や取り扱い状況によって異なるものと思われるが、ミシン類については約10年、また、電動の食品加工機材やその他電化製品についても10年程度と考えられる。ステンレス製の調理器具類では10年以上の耐用年数がある。

第5章 プロジェクトの評価と提言

5.1 妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果

社会福祉事業省では、日本の無償資金協力（第一次計画）で機材整備を実施する以前にも、職業訓練所を運営していたが、訓練を受けた者（対象者は、若者、女性、障害者、世帯主）の就業率は23%（訓練生279,541人、就業者数69,726人）であった。一方、第一次計画が実施された後の4年間（1991-94年）の訓練受講者の就業率は平均で約83%（訓練生67,219人、就業者55,768人）となっている。就業率が23%から80%へと著しく改善している。これは、まず第一に、女性が収入を得られやすい技能分野として縫製、食品加工、玩具製造等のコースが取り上げられたこと、そして、雇用されるために必要な技能レベルを身につけるために最適な種類・グレードの機材が整備されたことによるものである。また、品質的に確実かつ耐久性の高い機材が整備されたことにより、初級者の繰り返し使用にも耐え、故障が非常に少ないことが訓練コースのスムーズな進行に大きく役立っているものと言える。さらに、実施機関である社会福祉事業省による婦人職業訓練所運営（訓練対象とする女性が訓練コースに参加しやすいように各種配慮するとともに、訓練終了後には一般企業への就職斡旋や自立起業開設のための資金的支援などのフォローを行っていること等）が大変適切であったことも大きな要因である。

本計画（第二次計画）は、このように大きな実績を着実に挙げている婦人職業訓練所を全国的に増加させることで、恵まれない層の婦人に技能を身につけさせ、経済的自立を図ろうとするものである。そして、農村部の婦人が職業訓練を受け就業機会を得ることは、家庭の収入増加に大きく貢献すると判断される。以上から、雇用機会の創出ひいては貧困層の低減、女性の社会参加を図る本計画は我国の無償資金協力案件として妥当な計画であると言える。

具体的には本計画で対象とする婦人職業訓練所における、年間の訓練受講者数を各コースの定員、年間当たりのコース開設回数及び訓練所数から予測すると

- a) 縫製コース：25人×10回×30ヶ所=7,500人。
- b) 食品加工コース：20人×12回×18ヶ所=4,320人。
- c) 玩具製作コース：20人×12回×2ヶ所=480人。
- d) ホームエイドサービスコース：20人×12回×2ヶ所=480人。
- e) 機織りコース：20人×12回×6ヶ所=1,440人。

合計年間14,220人の女性（婦人）への職業訓練の実施が可能となる。

本計画の第一次計画にあたる訓練所での受講生の就業率（1991年-1994年の実績で約83%）から判断すると、年間約11,000人の女性への新たな就業機会の拡大に貢献出来ると思われる。これは、女性失業者数981,000人（1995年）に対し、毎年約1.1%づつの改善につながる。

また、訓練対象とする女性は、技術・技能を身につけていないことから雇用機会に恵まれない人々であり、このような女性に職業訓練を行うことは、収入を得られる道を開き、家計を助けひ

いては積極的な社会参加を促す効果がある。また、地元で就業することになれば、農村部から大都市や海外への移動を防ぐ効果もある。

5.2 技術協力

第一次計画で機材整備を行った婦人職業訓練所の運営は、社会福祉事業省により順調に行われている。整備された機材には取り扱いの難しい物はなく、訓練レベルも高度なものではないのでフィリピン人職員により良好に運営、維持管理されている。従って、本計画実施においても同様に、技術協力の必要性は特にないものと考えられる。

5.3 提言

婦人職業訓練所として計画されている各訓練所の建物は、既存の建物であり、機材設置に必要な面積と電気、ガス、水道の設備を備えている。整備する機材によって一部の訓練所に於いて、電気配線や水道管の延長など改装が必要となる。改装のための費用の予算化措置は既に図られている。機材配備計画に基づく建物及び設備の改装は、先方政府実施機関（場合によっては、地方政府の協力の下）によって実施される必要があり、これを機材調達・現地搬入前に済ませておくことが肝要である。

訓練所により、改装費および維持管理費の負担につき地方政府が支援する場合がある。この場合、設備の改装及び維持管理にかかわる費用負担につき、社会福祉事業省と地方政府間でその分担を事前に明確にしておく必要がある。

スペアパーツは訓練所によりその消耗度が異なる場合もあり、本計画で増加する訓練所においても第一次計画と同様にスペアパーツの融通を図る必要がある。

WID の面からの提言として、家族の生活を支えるための収入創出活動を必要としている女性の大半は20～40代の出産可能年齢に属しており、妊娠していたり、乳幼児を抱えていたりすることも多い。そのため、今後職業訓練コースへの女性の参加をさらに促進させるためには、0～4歳くらいの子供を預けることが可能な託児所を訓練所に付属させることも一案である。

自立起業を営む女性にとって市場開拓は大きな課題である。特に近所の住人や学校等の狭い市場で活動しているケースが多いため、市場が不安定で拡大が困難となっている。このため、商品の質の改善、原材料の安価な入手により質の良い商品を安く提供できる活動を推進することが必要である。マーケティングについては、社会福祉省のプロジェクト評価オフィサーや女性福祉ワーカー等が開業に際し、また、開業後も定期的に修了生を訪問し、その地域で需要のある商品、又はその質、量、販売対象者、価格帯などについてアドバイスを与えている。これらのアドバイスは修了生が事業を維持していく上で重要なものであるが、修了生の拡大に対し、きめの細かいフォローアップを継続して行うためには社会福祉省の要員の充実も必要と考えられる。

訓練所の修了生が地域に貢献できるシステムとしてマルチプライヤーをプロジェクトの一

環として採用していることは評価できる。特に、訓練コースに参加するために家を空けることが不可能な状況にある女性にとっては、このシステムは有効であり、今後拡大することも考慮に値する。